

フィデリティ・グローバル・センチメント・サーベイ

2022

フィデリティ・インスティテュート首席研究員
浦田 春河



グローバル・センチメント・サーベイ

世界17の国や地域を対象に、人々の心理状況、ウェルビーイング、お金の事情等を調査比較。

調査期間：2022年8月25日～9月26日

調査対象：以下のとおり

調査期間：2022年7月30～8月13日

調査対象：以下のとおり

グローバル

20,000 人

ヨーロッパ

英国: 1,000
フランス: 1,000
イタリア: 1,000
ドイツ: 1,000
スペイン: 1,000
オランダ: 1,000
アイルランド: 1,000

アメリカ

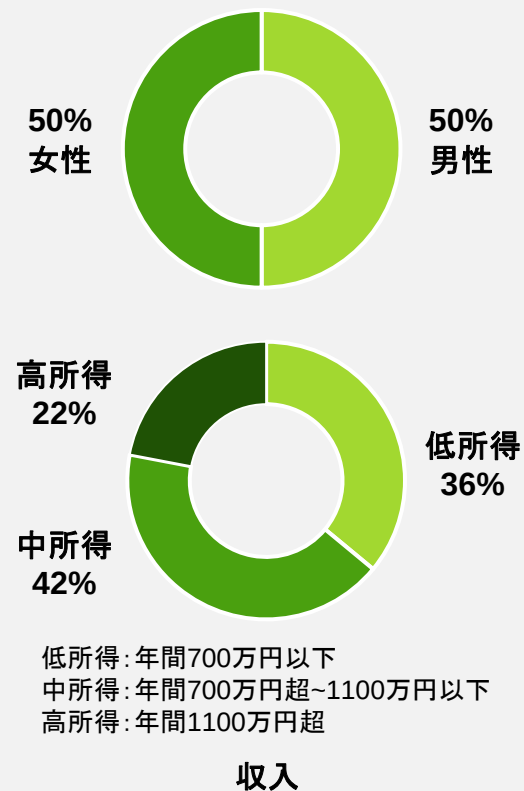
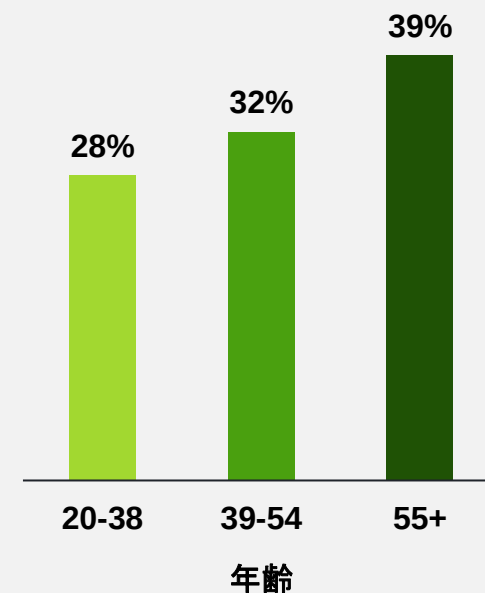
米国: 2,000
カナダ: 1,000
ブラジル: 1,000
メキシコ: 1,000

アジア太平洋

日本: 2,000
香港: 1,000
インド: 1,000
中国: 2,000
オーストラリア: 1,000
シンガポール: 1,000

日本

2,000 人



調査の概要

心理状況：将来に楽観的か悲観的か

- 2021年においては日本が最も悲観的な国だったが、インフレが進行し、国際政治情勢が緊迫した2022年は欧州各国で悲観派が大きく増加。日本は楽観的でも悲観的でもない中立派が増えた。
- 欧州ではインフレによる生活水準の低下がネガティブ心理のトップ要因。日本でもインフレは大きな問題であるが、欧米ほど深刻ではない。
- 日本人のストレス要因は、前年同様「新型コロナ」がトップ。一方、グローバルでは順位を下げ、心理面でのポストコロナ移行が観察される。

ウェルビーイング

- 「健康」「生活」「仕事」「お金」の各要素で日本は対前年改善。しかし、引き続きすべての項目でグローバルより低い水準である。

金融行動

- コロナ貯蓄の増加が世界的に観察された前年と異なり、支出・貯蓄とも増減の方向はまちまち。日本人は若年層と高所得層が貯蓄を増やした。
- 日本人は遠い将来までお金の心配をする傾向が強い。ファイナンシャル・アドバイスを求めることには消極的だが、SNSを情報源として活用。

老後準備

- リタイア時期を遅らせる傾向は世界共通。日本での理由は前回「働くことが好き」がトップだったが、今回は「老後資金が足りないから」が1位に。
- 日本の若年層が老後資産の積立額を増やしていることが顕著に認められる。

仕事

- ワークライフバランス支援を求める従業員の声は世界共通。女性は柔軟な勤務条件、高齢者は企業年金、低所得層は賞与、と属性により重視する福利厚生は異なる。
- 自社株を活用する報酬・福利厚生制度（ストックプラン）の利用率は、日本が調査国中で最も低い。「貯蓄から投資へ」のメニューとしても要検討。

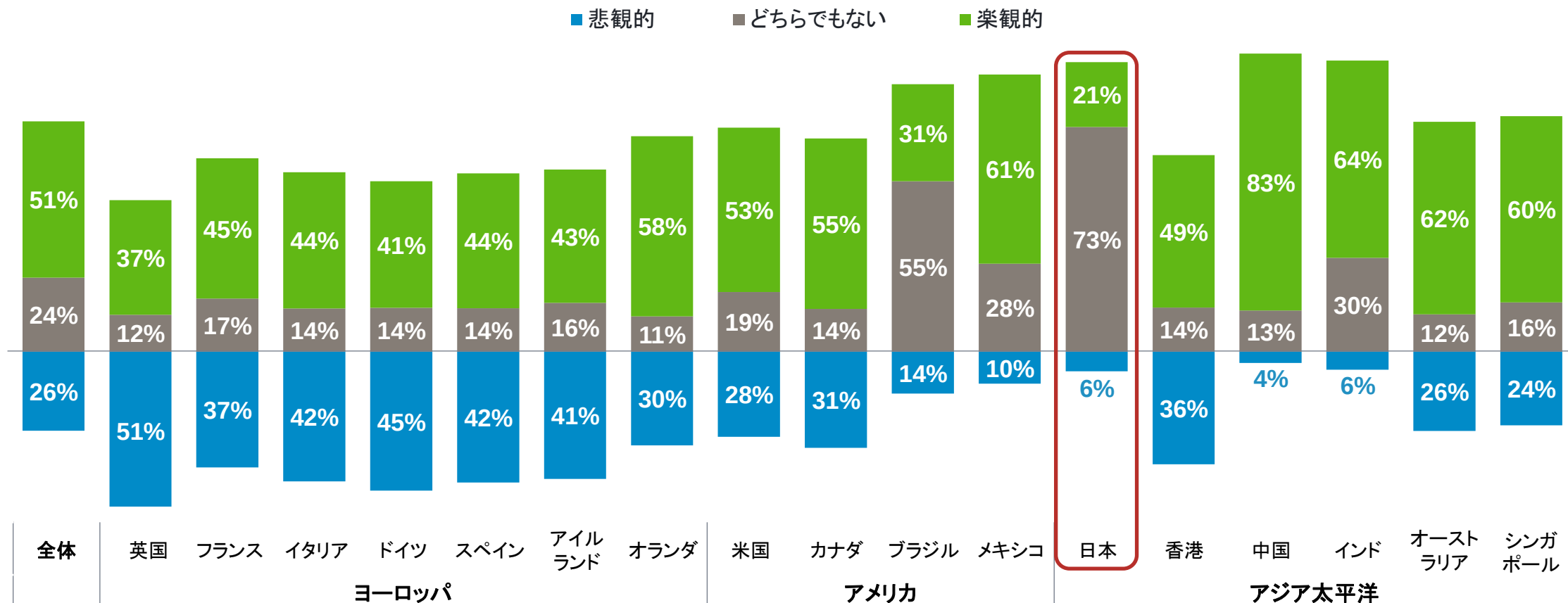
■ 内容

- ◆ 心理状況、ウェルビーイング P.5-18
- ◆ 家計支出、貯蓄、投資、負債 P.19-35
- ◆ 老後に向けた準備 P.36-48
- ◆ 仕事 P.49-57

State of Play 心理状況、ウェルビーイング

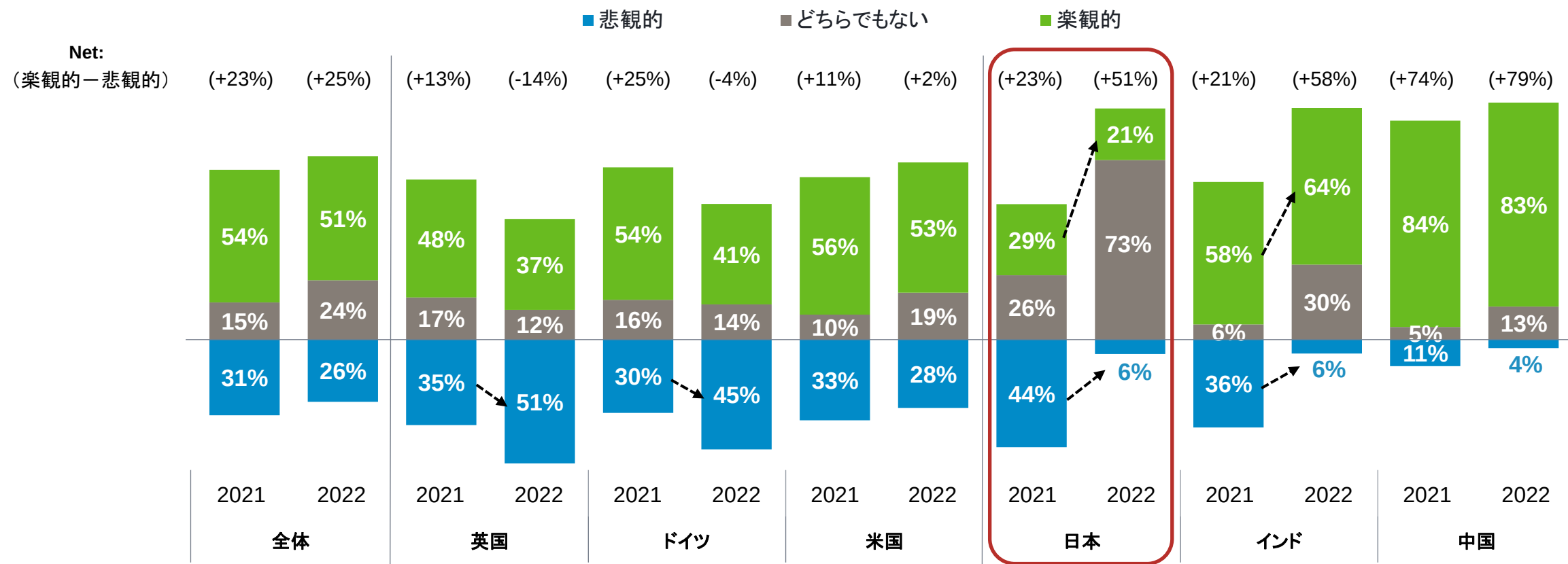
◆ 全世界の調査対象者の過半数はこの先6ヶ月を楽観視
地域別に見ると、アジア太平洋は楽観派が多いのに対し、欧州は悲観的な人が多い

Q この先6ヶ月について、あなたは楽観的に感じていますか、それとも悲観的に感じていますか？



◆ 対前年比較：欧州はこの1年でかなり悲観的に。中国・インドの楽観派は高水準に
日本は「悲観」が減って「どちらでもない」が急増。

Q この先6ヶ月について、あなたは楽観的に感じていますか、それとも悲観的に感じていますか？



◆ ポジティブな心理状況：新興諸国と米国が多いのに対して、欧州と日本・香港・シンガポールでは少ない

Q 過去6ヶ月間に以下の感情を経験しましたか？（「強く感じた」と回答した人の割合）

		ヨーロッパ								アメリカ				アジア太平洋					
		全体	英国	フランス	イタリア	ドイツ	スペイン	アイルランド	オランダ	米国	カナダ	ブラジル	メキシコ	日本	香港	中国	インド	オーストラリア	シンガポール
ポジティブな心理	希望に満ちている	41%	28%	37%	21%	31%	29%	34%	36%	50%	38%	70%	58%	15%	24%	57%	82%	42%	40%
	自信がある	41%	27%	34%	21%	43%	35%	29%	41%	50%	35%	63%	56%	15%	26%	57%	84%	41%	35%
	穏やか	41%	31%	44%	23%	36%	32%	27%	45%	47%	36%	45%	51%	28%	36%	50%	74%	43%	35%
	エネルギーギッシュ	38%	24%	47%	24%	30%	35%	25%	36%	43%	31%	57%	49%	15%	22%	55%	78%	36%	32%
	刺激を受けている	35%	24%	30%	22%	26%	28%	23%	31%	40%	28%	58%	55%	15%	20%	52%	80%	34%	31%

■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)
■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

◆ ネガティブな心理状況：欧州が相対的に多い

Q 過去6ヶ月間に以下の感情を経験しましたか？（「強く感じた」と回答した人の割合）

		ヨーロッパ								アメリカ				アジア太平洋					
		全体	英国	フランス	イタリア	ドイツ	スペイン	アイルランド	オランダ	米国	カナダ	ブラジル	メキシコ	日本	香港	中国	インド	オーストラリア	シンガポール
ネガティブな心理	ストレスを感じる	35%	42%	36%	38%	34%	27%	44%	22%	39%	33%	43%	30%	41%	26%	21%	48%	36%	33%
	不安である	35%	46%	40%	41%	45%	32%	40%	31%	34%	31%	52%	28%	29%	36%	21%	46%	37%	31%
	疲れている	35%	46%	46%	40%	32%	23%	42%	29%	34%	37%	33%	23%	42%	41%	18%	43%	40%	34%
	腹が立つ	22%	29%	29%	25%	31%	14%	23%	18%	20%	18%	21%	13%	27%	20%	13%	42%	24%	18%

■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)
 ■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

◆ ポジティブ心理の要因：仕事への満足感、在宅時間の増加、健康状態の改善が多いの国でトップ3。中国やインドでは、収入増、貯蓄増、生活水準の向上なども多い

Q 過去6ヶ月間にポジティブな感情を持った要因は何ですか？

		英国	フランス	イタリア	ドイツ	スペイン	アイルランド	オランダ	米国	カナダ	ブラジル	メキシコ	日本	香港	中国	インド	オーストラリア	シンガポール
(n/a)	39% 仕事に満足している	25%	35%	38%	40%	45%	35%	34%	41%	35%	41%	42%	35%	40%	44%	49%	33%	37%
(39%)	34% 自宅で過ごす時間が増えた	26%	32%	37%	33%	38%	37%	29%	34%	35%	40%	46%	32%	37%	23%	37%	32%	37%
(36%)	31% 自分の健康状態の改善	21%	28%	25%	27%	38%	27%	26%	36%	29%	40%	37%	28%	33%	26%	38%	28%	30%
(29%)	27% 貯蓄を増やせた	20%	17%	21%	18%	24%	24%	20%	29%	25%	29%	33%	24%	31%	33%	34%	30%	30%
(20%)	25% 収入が増加した	16%	16%	16%	16%	21%	22%	19%	29%	23%	31%	32%	12%	22%	33%	40%	20%	29%
(29%)	24% 家族や友人の健康状態が改善した	23%	18%	17%	21%	26%	18%	22%	24%	18%	30%	30%	24%	21%	25%	31%	19%	23%
(24%)	24% 生活水準の向上	15%	18%	25%	14%	21%	15%	18%	22%	15%	31%	26%	13%	24%	39%	37%	18%	24%
(9%)	10% 就職・転職	8%	7%	7%	7%	6%	15%	10%	10%	10%	8%	10%	5%	11%	9%	15%	13%	13%
(8%)	8% 新居の購入	9%	6%	7%	6%	6%	8%	6%	10%	5%	7%	7%	4%	7%	11%	18%	9%	10%
(6%)	7% 妊娠・出産	6%	6%	5%	4%	4%	7%	5%	8%	6%	7%	7%	4%	6%	8%	13%	6%	7%
(3%)	6% 結婚	6%	4%	5%	5%	2%	6%	3%	5%	4%	13%	3%	3%	5%	6%	10%	6%	5%

(カッコ内は2021年の数値)

■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)

■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

◆ ポジティブ心理の要因：仕事への満足感が日本ではトップ 在宅時間の増加も昨年よりポイントを伸ばしている

Q 過去6ヶ月間にポジティブな感情を持った要因は何ですか？

		性別		年齢			収入		
		男性	女性	20-38	39-54	55+	低	中	高
(n/a)	35% 仕事に満足している	38%	31%	31%	34%	39%	31%	30%	48%
(25%)	32% 自宅で過ごす時間が増えた	33%	31%	35%	35%	26%	30%	36%	27%
(33%)	28% 自分の健康状態が改善した	30%	26%	24%	25%	35%	25%	28%	33%
(26%)	24% 貯蓄を増やせた	25%	23%	28%	25%	20%	22%	21%	33%
(27%)	24% 家族や友人の健康状態が改善した	23%	24%	23%	18%	27%	22%	23%	26%
(11%)	13% 生活水準が向上した	13%	12%	17%	13%	8%	10%	11%	19%
(12%)	12% 収入が増加した	14%	11%	17%	13%	8%	12%	8%	19%
(4%)	5% 就職・転職	6%	4%	8%	4%	2%	6%	1%	8%
(3%)	4% 新居の購入	4%	3%	8%	3%	0%	3%	3%	7%
(2%)	4% 妊娠・出産	3%	5%	9%	1%	0%	5%	3%	4%
(1%)	3% 結婚	3%	2%	7%	1%	1%	3%	3%	3%

(カッコ内は2021年の数値)

■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)

■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

◆ ネガティブ心理の要因：生計費の上昇、国際政治情勢は多くの国でネガティブ心理を生み出した。特に欧州では、生計費の上昇が大きな影響を与えている

Q 過去6ヶ月間にネガティブな感情を持った要因は何ですか？

		英国	フランス	イタリア	ドイツ	スペイン	アイルランド	オランダ	米国	カナダ	ブラジル	メキシコ	日本	香港	中国	インド	オーストラリア	シンガポール
(23%)	45% 生計費の上昇／インフレ／生活水準の低下	56%	47%	51%	50%	55%	55%	40%	44%	53%	40%	56%	31%	55%	33%	29%	42%	43%
(n/a)	43% 国際情勢	43%	50%	40%	50%	52%	45%	37%	40%	41%	41%	36%	48%	62%	35%	35%	33%	36%
(n/a)	30% 仕事、職場の変更	22%	30%	31%	18%	27%	36%	27%	29%	37%	33%	28%	34%	38%	27%	28%	29%	40%
(26%)	30% 自分の健康状態	30%	25%	24%	28%	21%	30%	31%	28%	34%	25%	25%	36%	26%	30%	38%	33%	32%
(23%)	23% 家族や友人の健康状態	22%	23%	18%	16%	24%	24%	21%	25%	18%	25%	26%	21%	25%	27%	38%	21%	21%
(22%)	15% 失業	15%	10%	10%	13%	14%	11%	16%	15%	15%	14%	17%	9%	27%	20%	25%	16%	22%
(15%)	15% 家族・友人との死別	18%	15%	9%	11%	12%	15%	14%	16%	14%	20%	21%	6%	13%	17%	26%	16%	11%
(9%)	10% 友人・交際相手との別れ	10%	6%	7%	8%	4%	11%	8%	15%	14%	5%	9%	5%	6%	11%	21%	12%	14%
(2%)	4% 離婚	4%	2%	2%	3%	3%	3%	6%	5%	2%	2%	3%	1%	2%	7%	11%	5%	5%

(カッコ内は2021年の数値)

■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)
■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

◆ ネガティブ心理の要因：日本では、国際政治情勢と健康問題が源泉 生計費の上昇はグローバルと比べると順位は低い

Q 過去6ヶ月間にネガティブな感情を持った要因は何ですか？

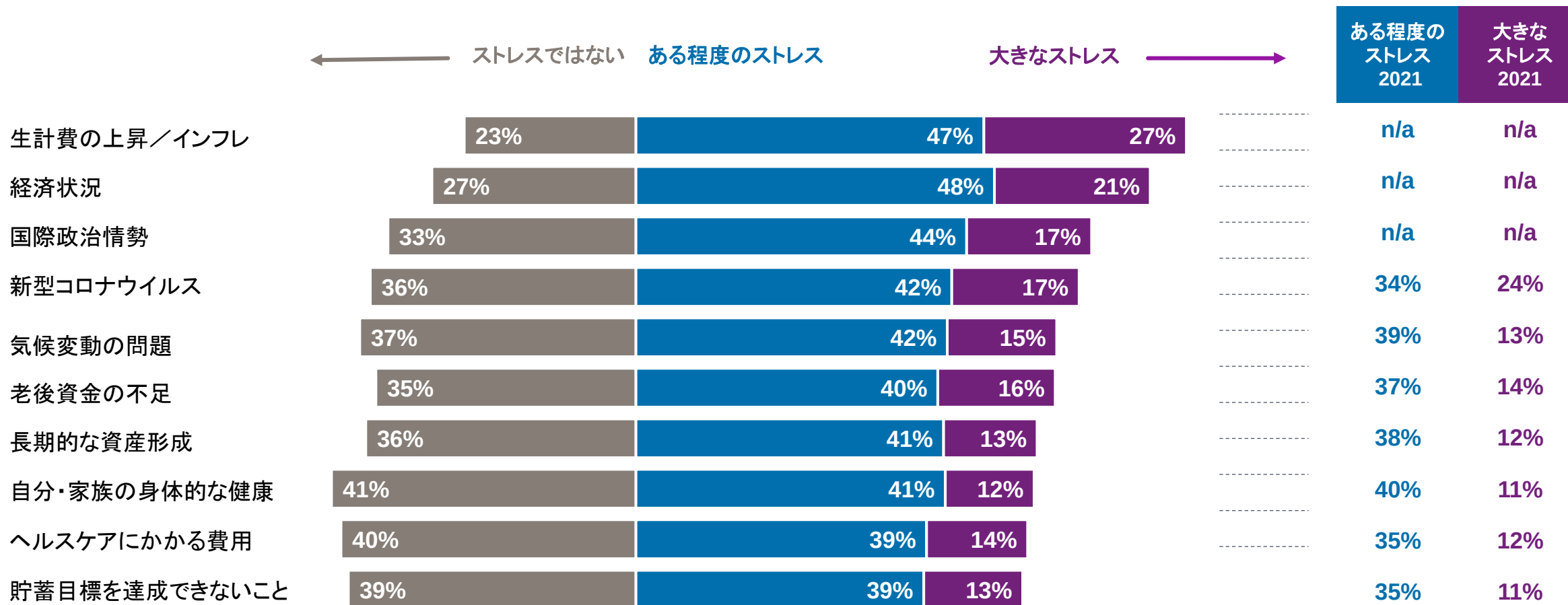
	性別		年齢			収入		
	男性	女性	20-38	39-54	55+	低	中	高
(n/a) 48% 国際情勢	49%	48%	49%	49%	47%	50%	48%	46%
(28%) 36% 自分の健康状態	32%	40%	30%	38%	41%	35%	39%	32%
(n/a) 34% 仕事、職場の変更	35%	32%	34%	37%	30%	34%	32%	37%
(21%) 31% 生計費の上昇／インフレ／生活水準の低下	35%	27%	32%	33%	28%	32%	31%	29%
(16%) 21% 家族や友人の健康状態	17%	26%	16%	21%	27%	19%	21%	25%
(5%) 9% 失業	11%	8%	10%	9%	9%	11%	8%	9%
(4%) 6% 家族・友人との死別	6%	7%	7%	5%	8%	7%	4%	11%
(4%) 5% 友人・交際相手との別れ	5%	5%	7%	5%	3%	5%	6%	4%
(1%) 1% 離婚	1%	0%	0%	1%	1%	0%	1%	1%

(カッコ内は2021年の数値)

■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)
■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

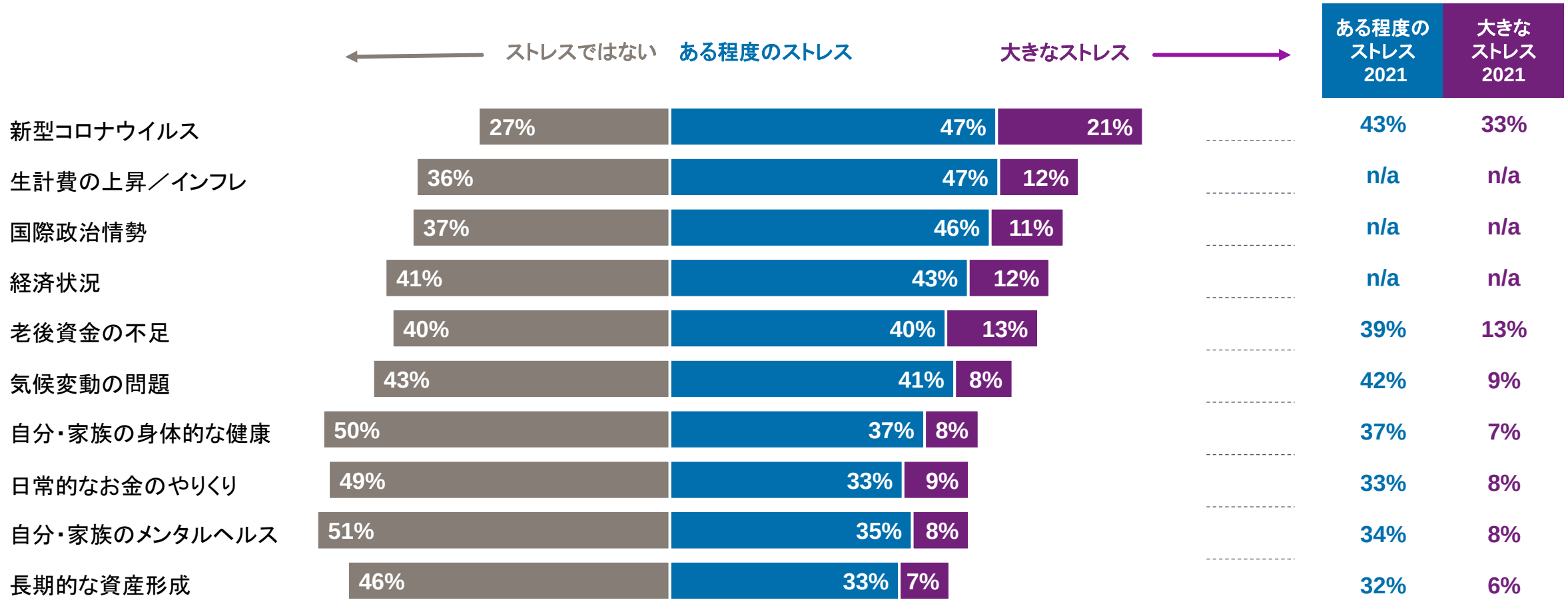
◆ ストレスを感じる事項：グローバルでは、インフレが最大のストレス要因。次いで経済状況、国際政治情勢と続き、新型コロナ問題はピークアウトした模様

Q あなたは以下の項目について、どの程度ストレスを感じていますか？ – 上位10項目



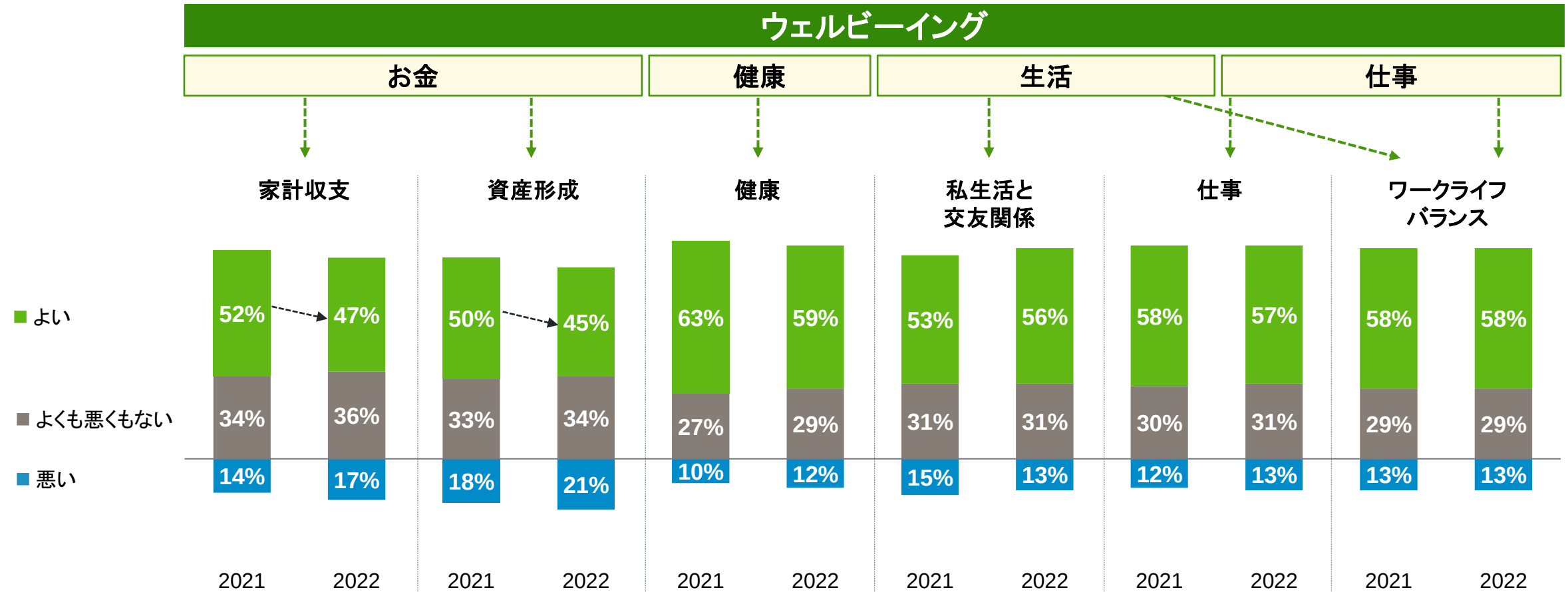
◆ ストレスを感じる事項：新型コロナ問題は昨年より減ったものの依然としてトップ インフレ、国際政治情勢、経済状況、気候変動問題はグローバルと比べると低い

Q あなたは以下の項目について、どの程度ストレスを感じていますか？－ 上位10項目



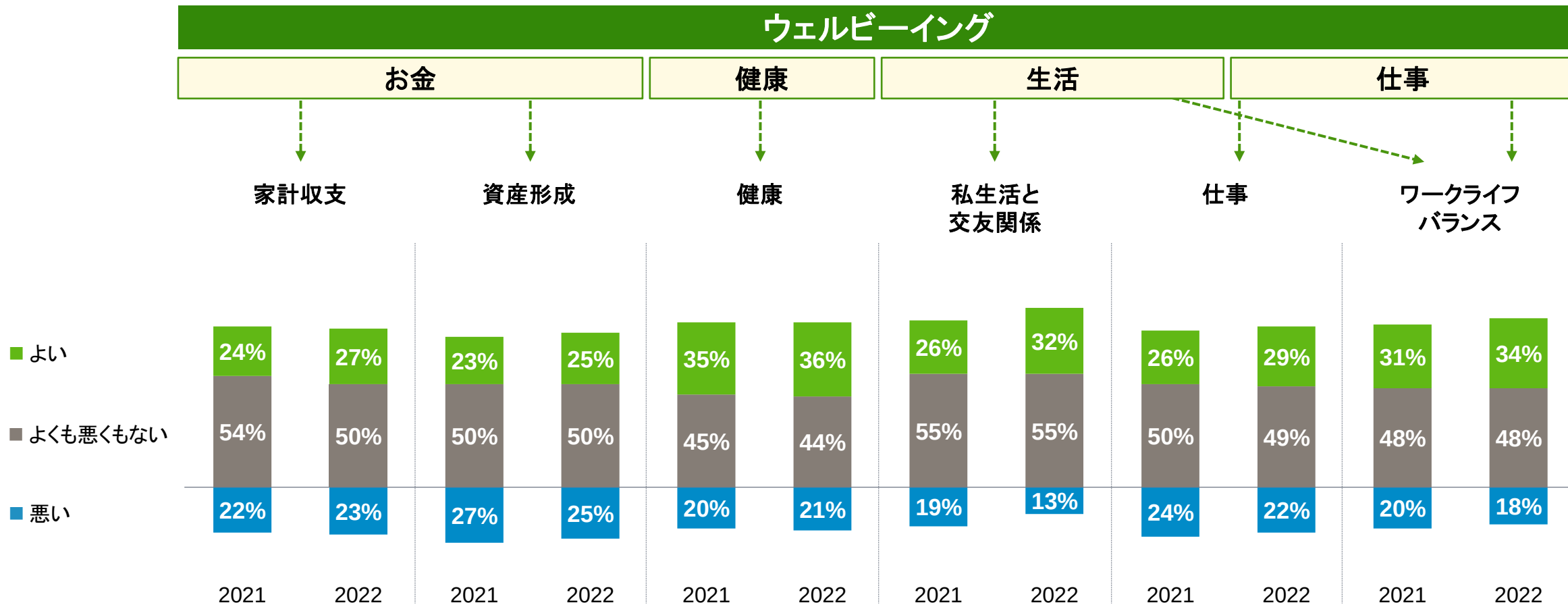
◆ ウェルビーイングの構成要素のうち、健康、生活、仕事の面では6割近くの人がよいと回答。お金の面では前年よりやや悪化して、よいと回答した人は半数を切った。

Q ウェルビーイングを構成する以下の要素について、あなたはどのように感じていますか？



◆ グローバルの回答と比較すると日本人の回答はどの分野もやや低めではあるが、数値は前年より改善している

Q ウェルビーイングを構成する以下の要素について、あなたはどのように感じていますか？



- ◆ ウェルビーイングの構成要素：国による差異が激しい。オランダ、米国、ブラジル、インド、中国は総じて「よい」と回答する人が多い
日本は、英国、香港とともにすべての項目で相対的に低い結果となった

Q ウェルビーイングを構成する以下の要素について、あなたはどのように感じていますか？

よいと回答した人の%	英国	フランス	イタリア	ドイツ	スペイン	アイルランド	オランダ	米国	カナダ	ブラジル	メキシコ	日本	香港	中国	インド	オーストラリア	シンガポール
家計収支	40%	45%	40%	43%	46%	37%	54%	59%	49%	59%	43%	27%	28%	58%	72%	53%	47%
資産形成	38%	43%	40%	41%	43%	34%	49%	55%	43%	60%	43%	25%	27%	61%	69%	47%	44%
健康	48%	57%	66%	55%	68%	61%	60%	69%	59%	80%	69%	36%	34%	68%	77%	58%	52%
私生活と交友関係	42%	60%	51%	60%	69%	46%	62%	64%	50%	73%	65%	32%	30%	66%	77%	55%	49%
仕事	41%	55%	60%	61%	65%	55%	65%	68%	55%	76%	66%	29%	28%	66%	77%	58%	42%
ワークライフバランス	48%	58%	55%	55%	66%	56%	63%	66%	61%	73%	65%	34%	34%	65%	75%	60%	51%

■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)
■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

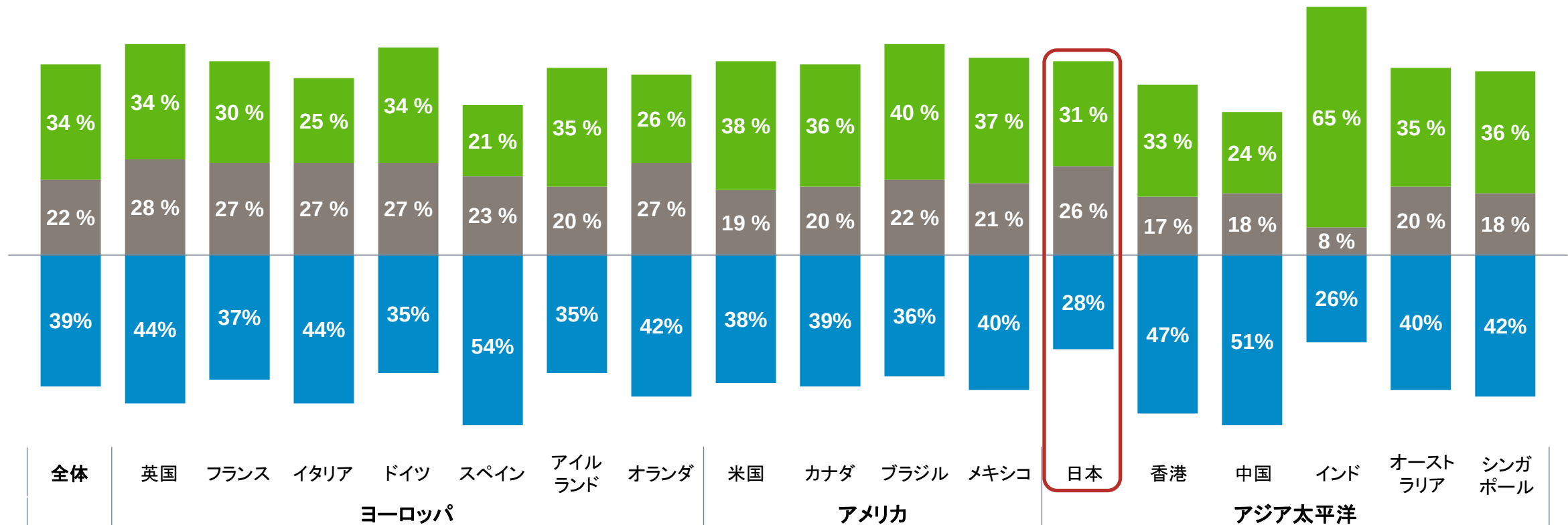
Financial Behaviour

家計支出、貯蓄、投資、負債

◆ 支出：日本を含め、どの国もグローバル平均に近い スペインと中国は使わなさすぎ、インドは使いすぎ

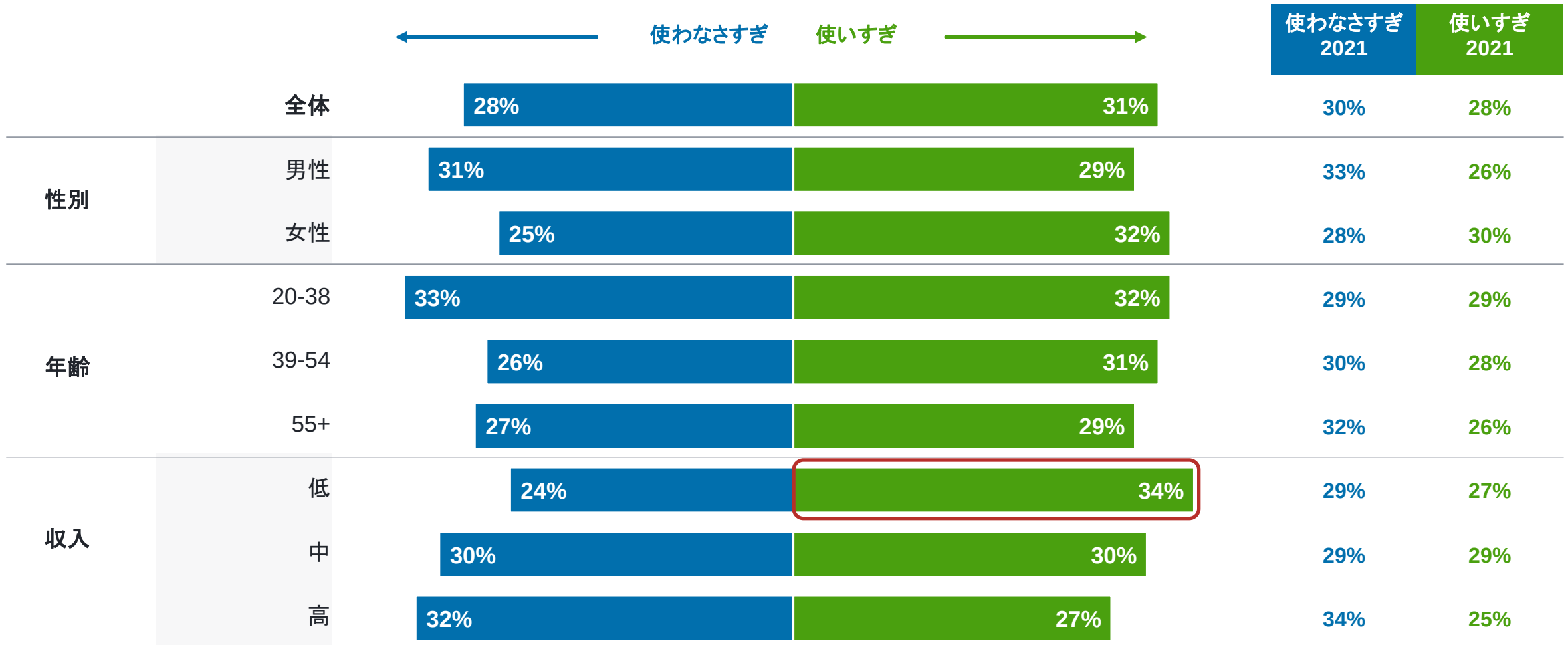
Q 過去6ヶ月間の支出は、ご自分の財政事情に見合う金額でしたか(使いすぎたり、逆に使わなさすぎた、という感触はありましたか)？

■ 使わなさすぎた ■ 自分に見合った支出だった ■ 使いすぎた



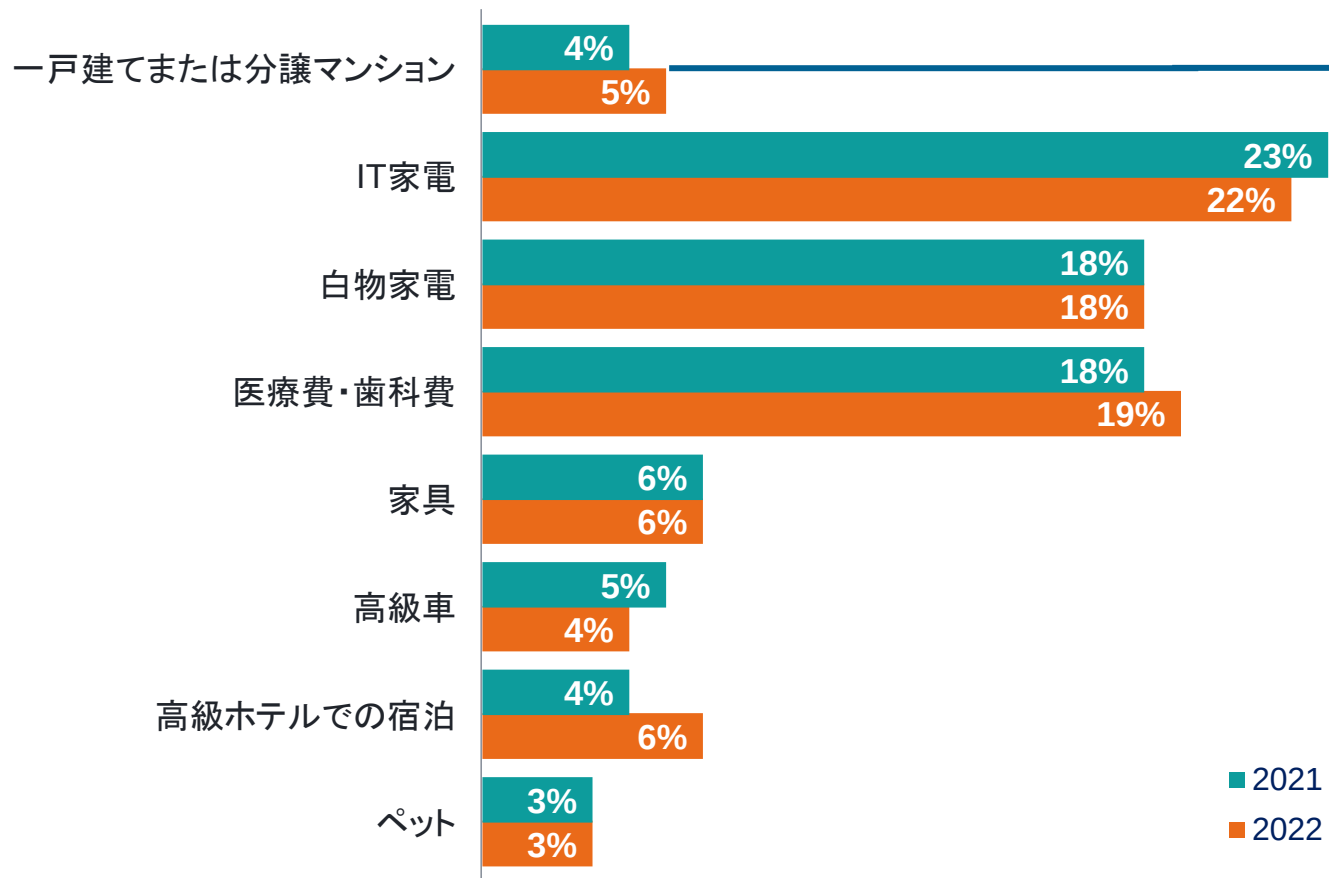
◆ 支出：昨年と比べると「使いすぎた」は増えている。特に、所得が低い層で顕著。

Q 過去6ヶ月間の支出は、ご自分の財政事情に見合う金額でしたか（使いすぎたり、逆に使わなさすぎた、ということはありませんか）？

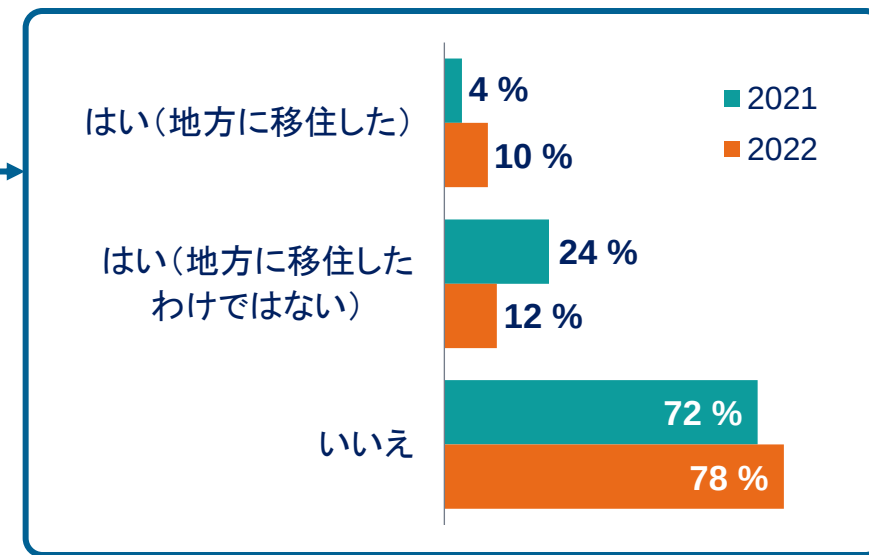


◆ 高額商品の購入に大きな変化はないが、新型コロナの影響により地方移住する人は増えている

Q 過去6ヶ月間で最も大きな買い物、あるいは最も高額の出費は何でしたか？

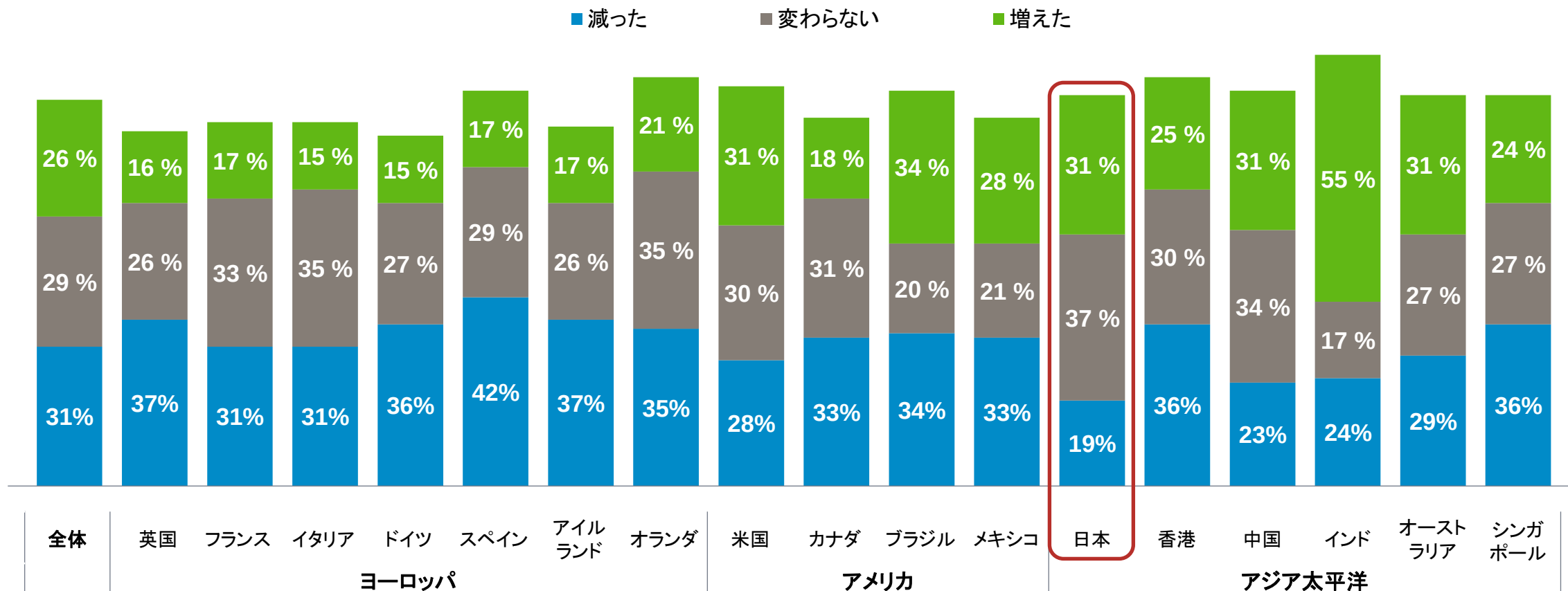


Q 家やマンションを購入したのは、新型コロナの影響ですか？



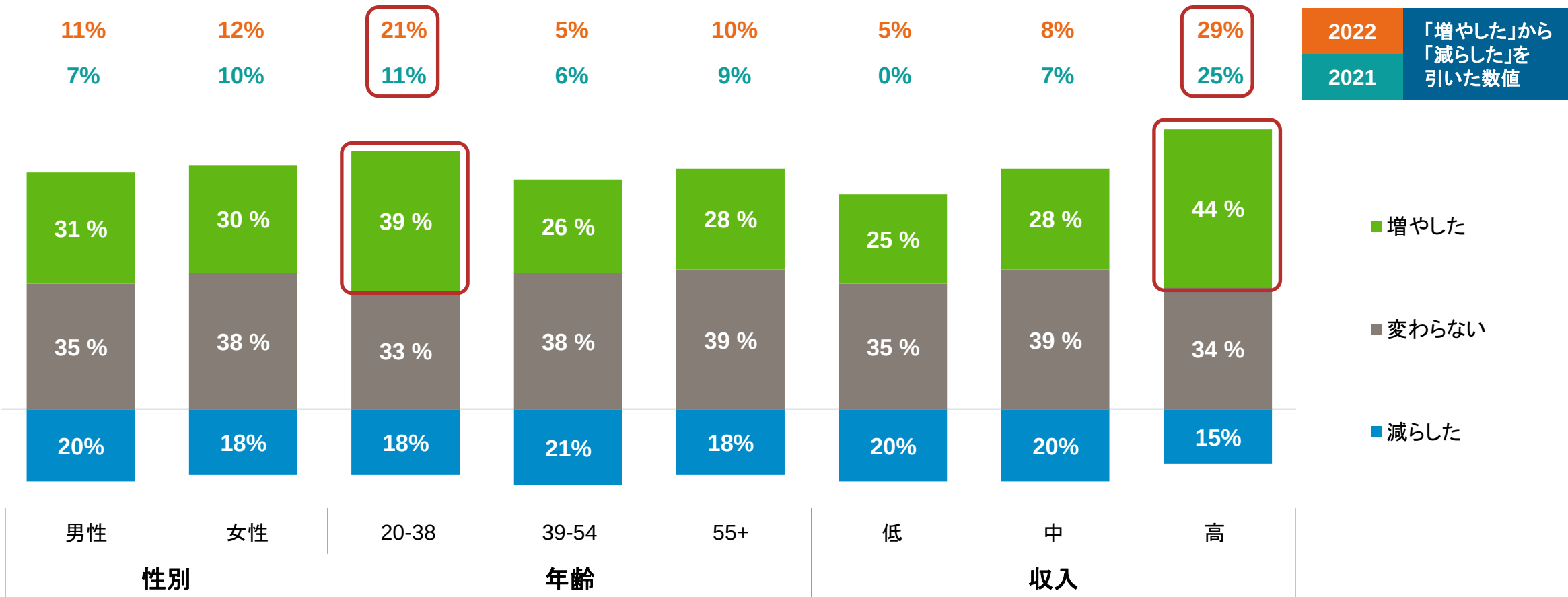
◆ 貯蓄：前回はグローバル共通で「コロナ禍で貯蓄が増えた」との回答が多かったが、今回は欧州において「貯蓄が減った」との回答が増えている。日本はほぼ同じ。

Q 過去6ヶ月間は、それ以前と比べて貯蓄額が増えましたか、減りましたか？



◆ 貯蓄：日本人は貯蓄を増やした人の方が減らした人より多い
特に、若年層と高所得層に貯蓄を増やした人が多い

Q 過去6ヶ月間は、それ以前と比べて貯蓄額が増えましたか、減りましたか？



◆ 貯蓄を減らした人の理由は、家計の支出増がトップ

Q 貯蓄が減った原因は何ですか？

(54%)	58%	家計支出が増えた
(11%)	12%	旅行、高級品の購入など娯楽費が増えた
(10%)	11%	体調不良により自分または家族の勤務時間が減った
(12%)	9%	これまでより低収入の職業に就いた
(3%)	8%	通勤・通学の交通費が増えた
(8%)	6%	パートタイムの仕事・副業を辞めた
(7%)	6%	解雇・一時的な解雇を受けた
(1%)	4%	家族が亡くなった
(0%)	2%	離婚した

性別		年齢			収入		
男性	女性	20-38	39-54	55+	低	中	高
56 %	60 %	60 %	61 %	54 %	57 %	60 %	55 %
13 %	11 %	17 %	12 %	8 %	7 %	11 %	23 %
10 %	13 %	10 %	15 %	9 %	15 %	9 %	9 %
11 %	7 %	8 %	8 %	12 %	13 %	6 %	10 %
8 %	8 %	12 %	10 %	2 %	7 %	7 %	11 %
5 %	6 %	11 %	3 %	5 %	5 %	3 %	15 %
5 %	6 %	8 %	5 %	4 %	8 %	4 %	5 %
6 %	3 %	5 %	3 %	6 %	3 %	3 %	11 %
3 %	1 %	5 %	2 %	1 %	1 %	2 %	1 %

(カッコ内は2021年の数値)

■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)
 ■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

◆ 貯蓄を増やした人の理由は、家計の支出減と贅沢品への支出減がトップ

Q 貯蓄が増えた原因は何ですか？

37% 家計支出が減った

37% 旅行、高級品の購入など娯楽費が減った

11% 在宅勤務をすることで出社勤務する際にかかる費用が減った

11% これまでより高収入の仕事に就いた

8% 借金が減った

8% パートタイムの仕事・副業を辞めた

7% 通勤・通学の交通費が減った

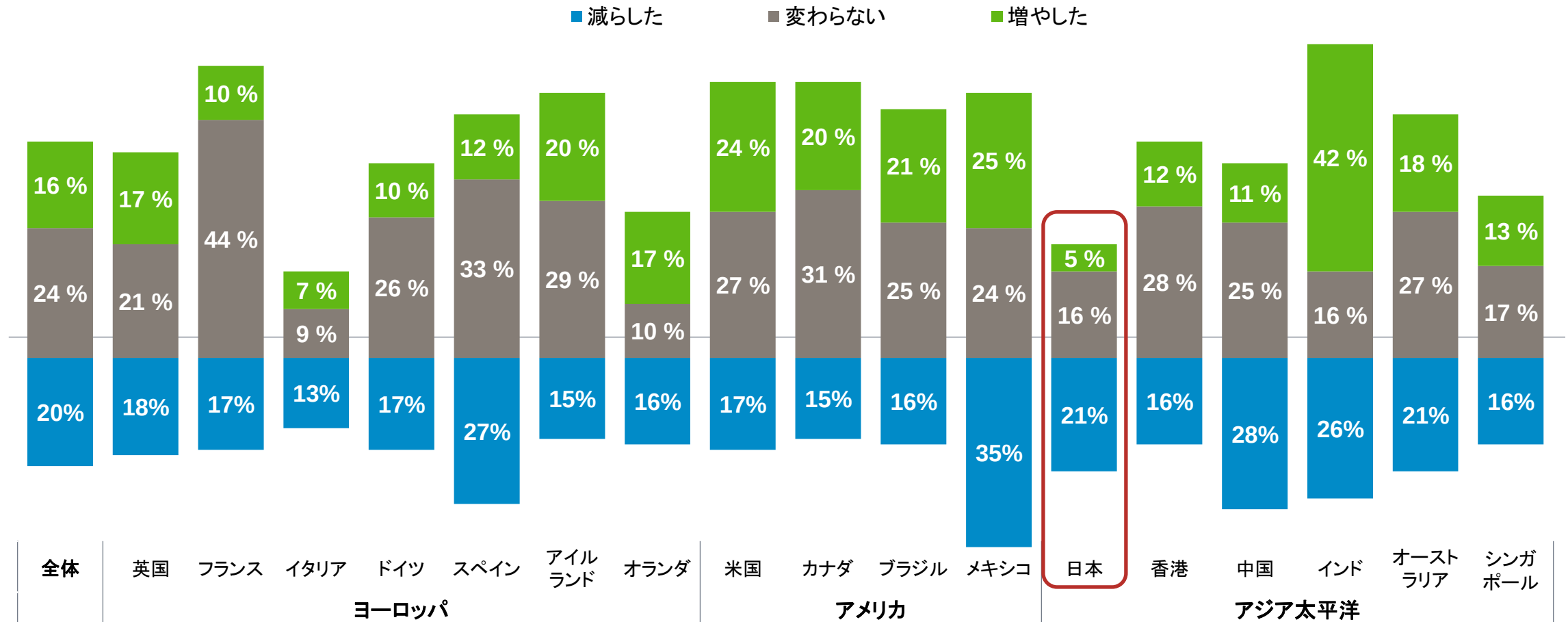
性別		年齢			収入		
男性	女性	20-38	39-54	55+	低	中	高
35 %	40 %	39 %	34 %	39 %	37 %	38 %	37 %
34 %	40 %	32 %	41 %	39 %	38 %	37 %	37 %
13 %	10 %	14 %	8 %	11 %	7 %	12 %	14 %
9 %	13 %	14 %	14 %	5 %	12 %	8 %	14 %
10 %	7 %	8 %	9 %	9 %	7 %	9 %	9 %
11 %	5 %	11 %	8 %	5 %	9 %	8 %	8 %
10 %	5 %	12 %	6 %	4 %	4 %	8 %	10 %

■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)

■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

◆ 借金の水準については、どの国も昨年からほぼ変化なし

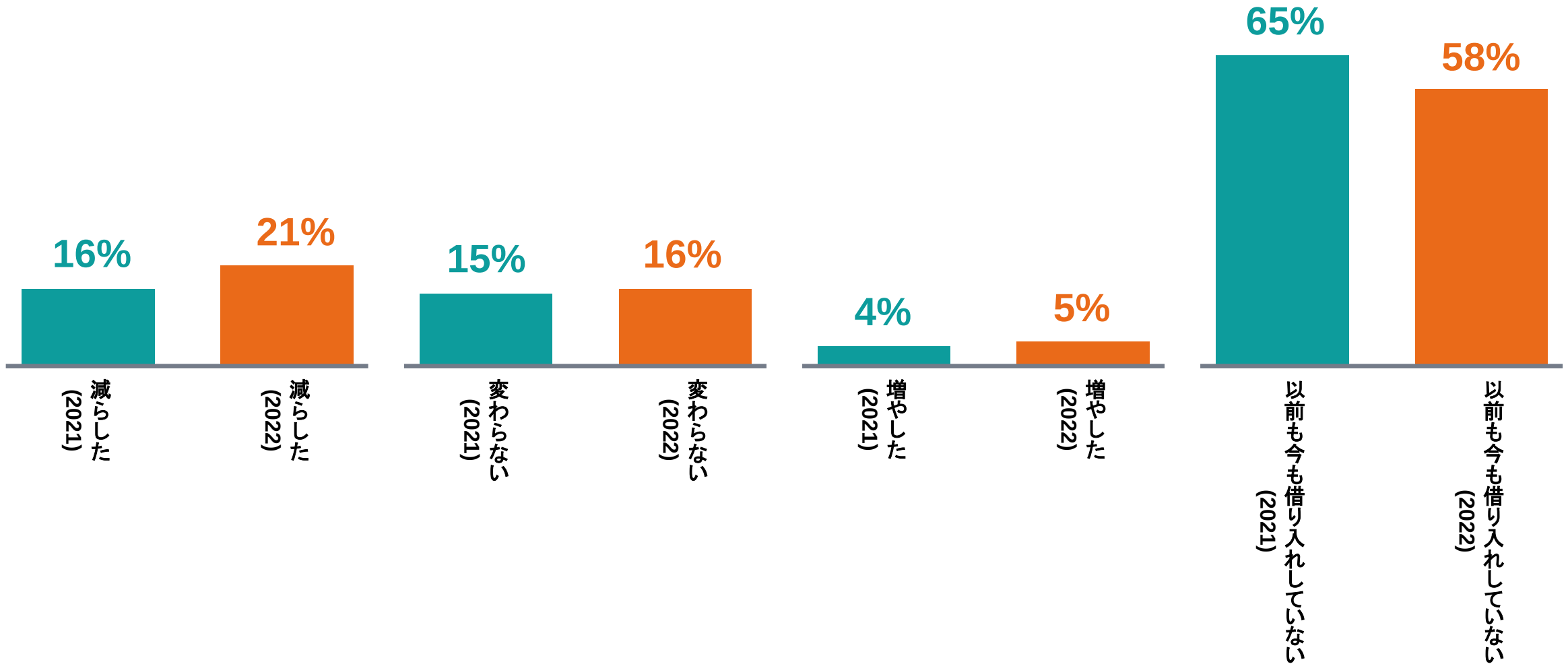
Q 過去6ヶ月間で借入額を増やしましたか、減らしましたか？



◆ 借金をしていない日本人は引き続き高い水準で存在(58%)

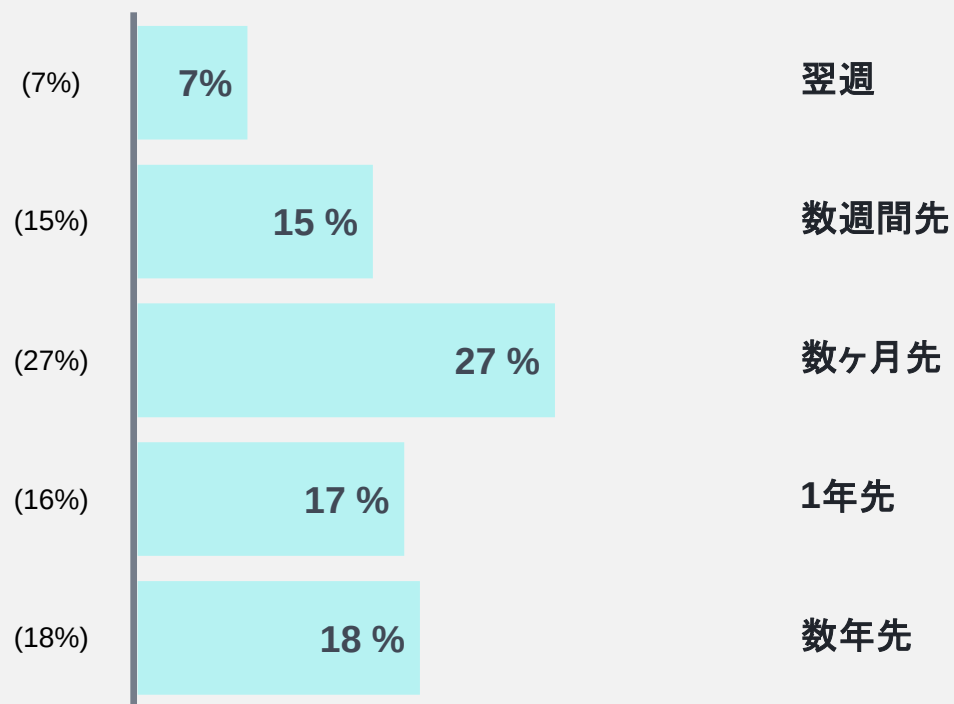


過去6ヶ月間で借入額を増やしましたか、減らしましたか？



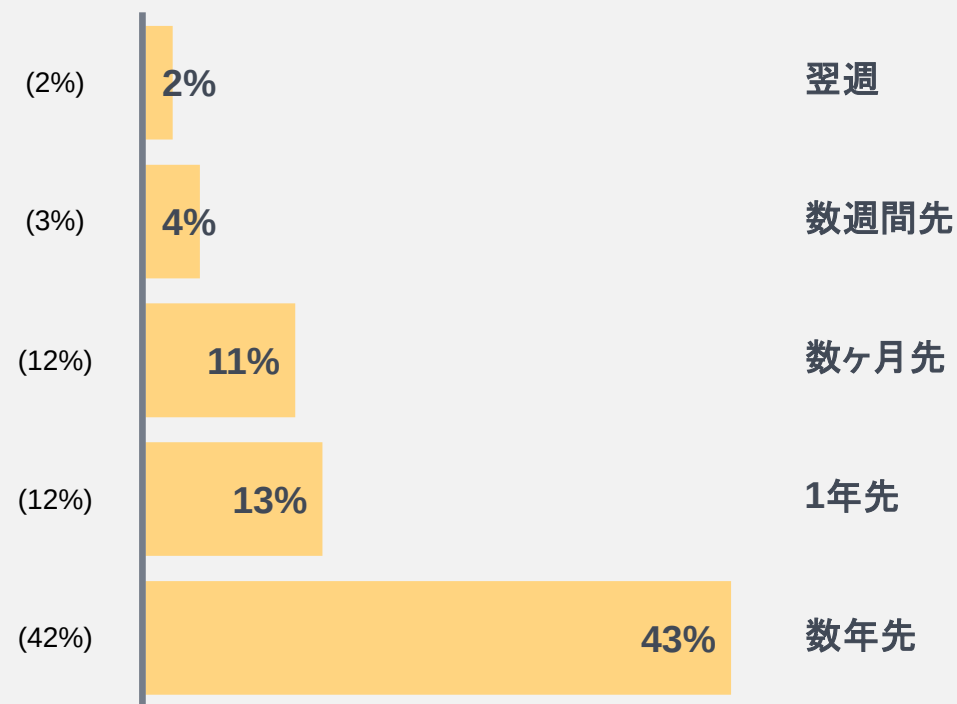
◆ どれくらい先までお金のやりくりについて計画をしているか？
日本人はグローバルと比べて、かなり先までお金の心配をしている

グローバル



(カッコ内は2021年の数値)

日本

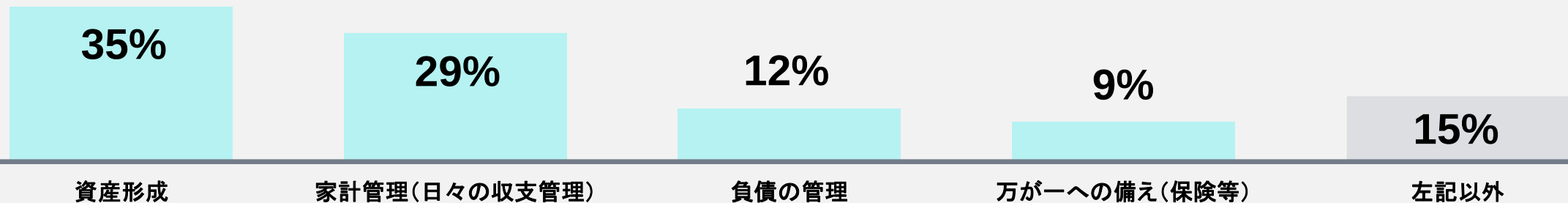


(カッコ内は2021年の数値)

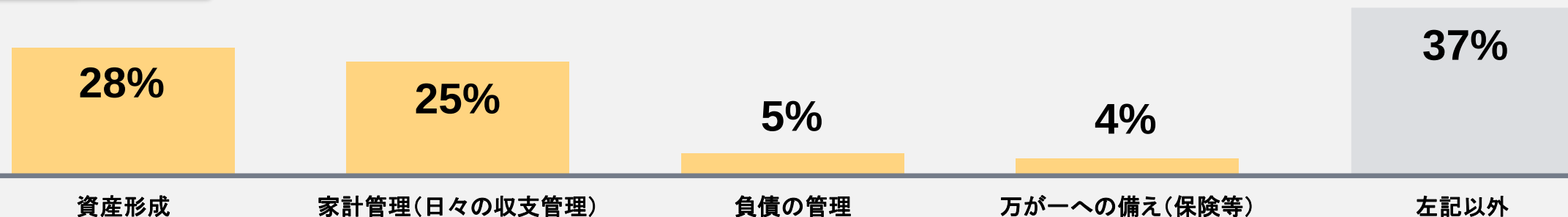
◆ グローバルも日本も資産形成が最も切実なお金の課題、次いで日々の家計管理

Q お金に関する問題のうち、あなたにとって最も急を要している分野はどれですか？

グローバル

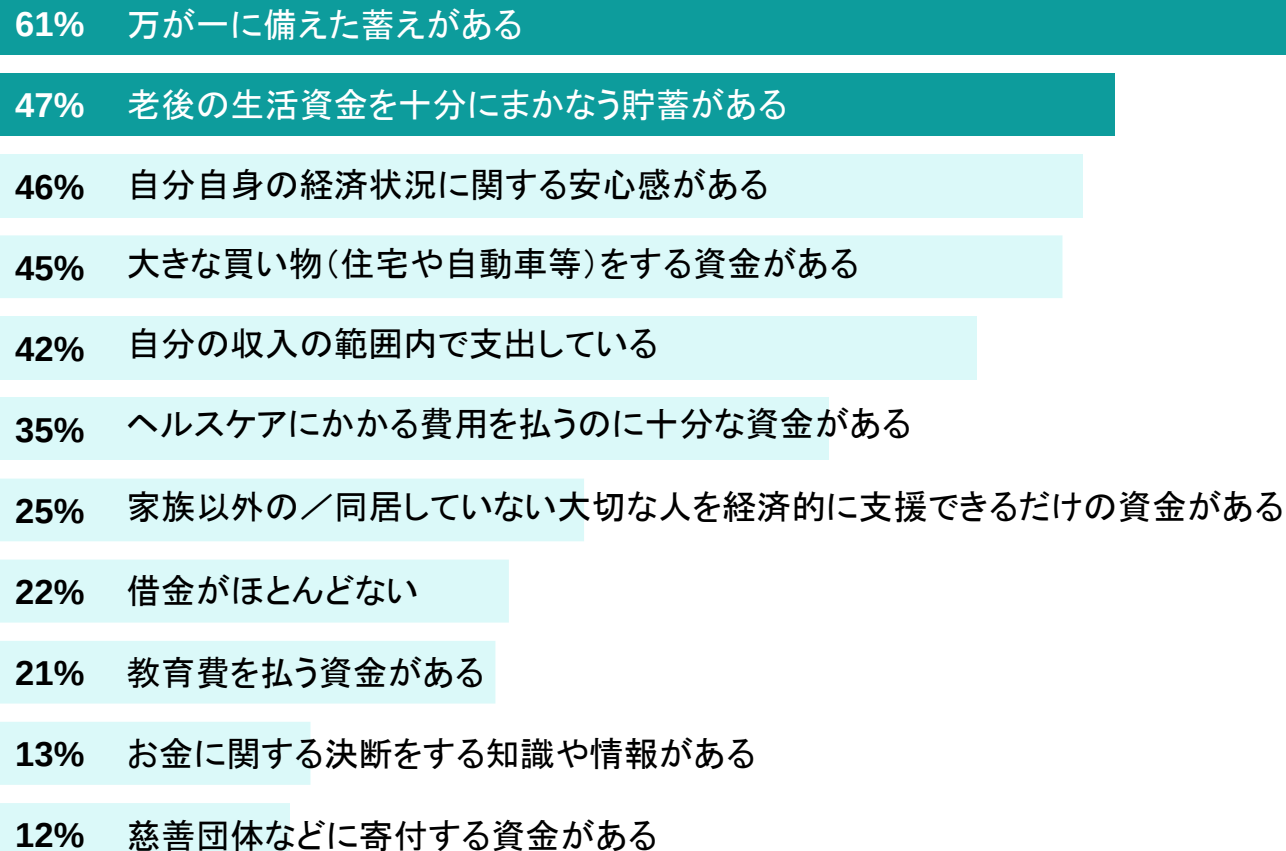


日本

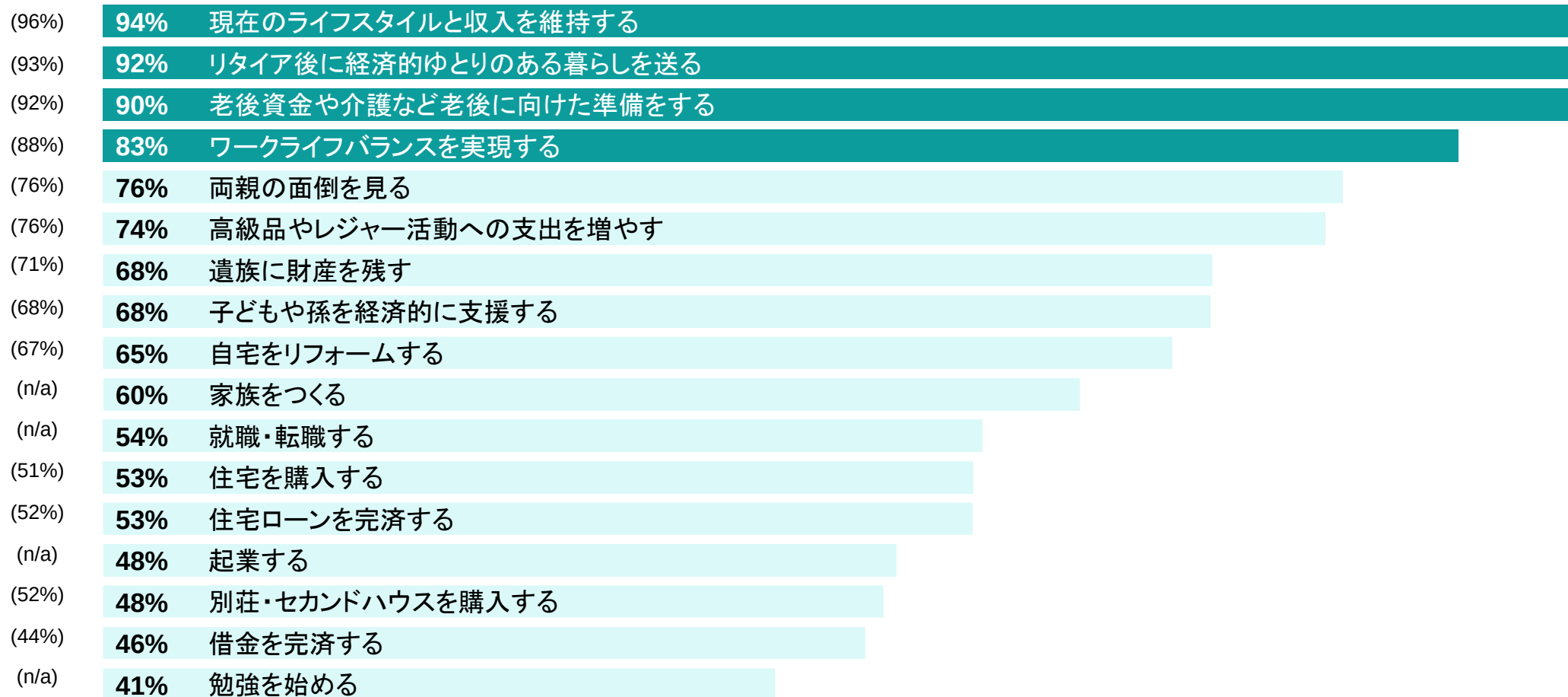


◆ 「金銭的に余裕がある」とはどういう状況か？ : 「万が一に備えた資金がある」がトップで、次に「老後資金を十分持っている」

Q あなたにとって、「金銭的に余裕がある」というのは、具体的にはどういう状況ですか？

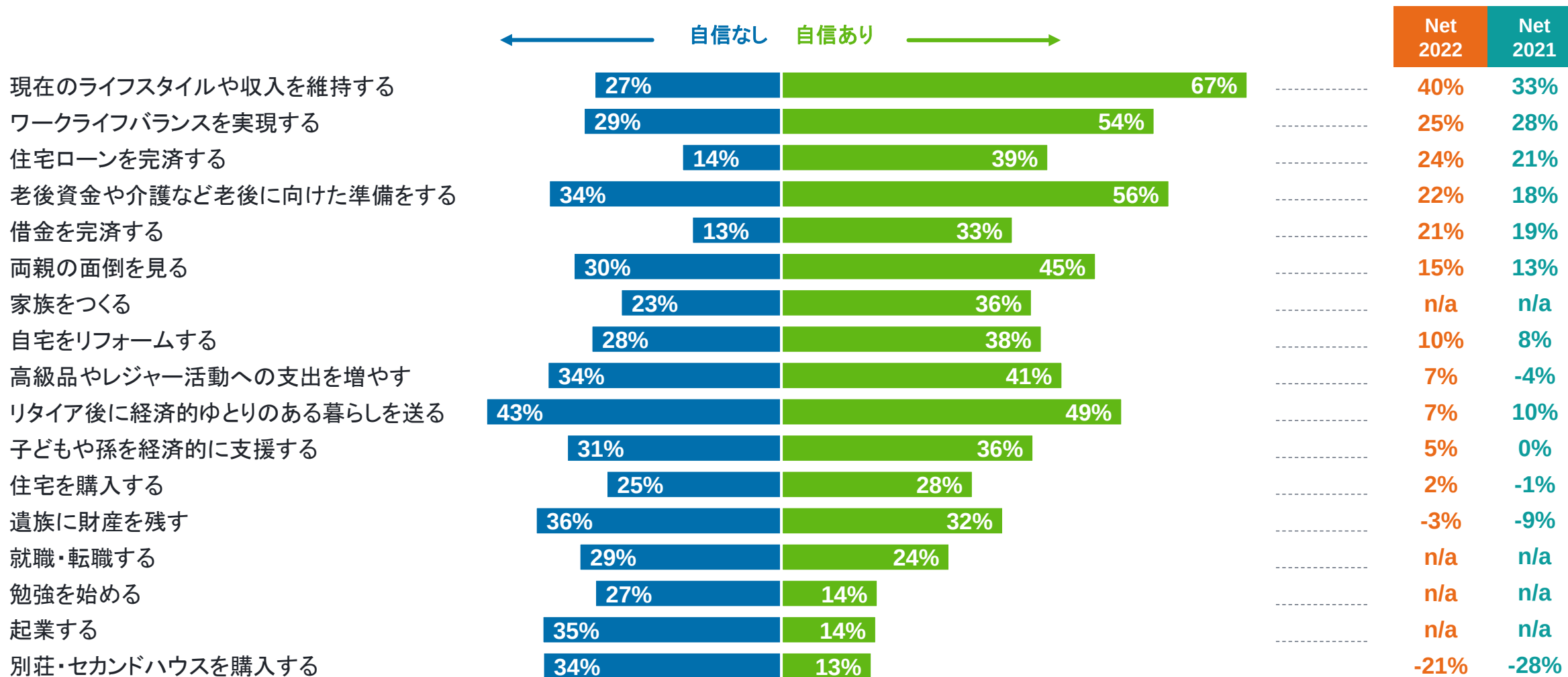


◆ 日本人の長期的なお金の面での目標:「現在のライフスタイルと収入を維持する」と「リタイア後に経済的ゆとりのある暮らしを送る」などが上位



(カッコ内は2021年の数値)

◆ 目標達成に向けた自信：昨年よりおおむね改善している



自信あり - 自信なし = Net

◆ ファイナンシャル・アドバイスを誰からもらうか ファイナンシャル・アドバイザーが上位2位までに入る国は17の国や地域中6か国

Q 過去6ヶ月間で、ファイナンシャル・アドバイスを求めましたか？ また、そのアドバイスにしたがって具体的な行動をとりましたか？

アドバイスのソースとして、SNSがトップ2に入るのは、日本、中国、ブラジル

	英国	フランス	イタリア	ドイツ	スペイン	アイルランド	オランダ	米国	カナダ	ブラジル	メキシコ	日本	香港	中国	インド	オーストラリア	シンガポール
アドバイスを求めた相手 第1位	友人&家族 11%	銀行 19%	銀行 22%	友人&家族 14%	銀行 20%	友人&家族 17%	友人&家族 14%	ファイナンシャル アドバイザー ブローカー 19%	銀行 18%	銀行 29%	銀行 28%	友人&家族 12%	銀行 24%	SNS 27%	友人&家族 42%	友人&家族 16%	友人&家族 21%
アドバイスを求めた相手 第2位	ファイナンシャル アドバイザー ブローカー 11%	友人&家族 11%	友人&家族 14%	銀行 11%	友人&家族 12%	銀行 11%	ファイナンシャル アドバイザー ブローカー 10%	友人&家族 18%	ファイナンシャル アドバイザー ブローカー 17%	SNS 27%	友人&家族 22%	SNS 8%	ファイナンシャル アドバイザー ブローカー 16%	銀行 26%	銀行 34%	ファイナンシャル アドバイザー ブローカー 13%	銀行 17%
行動を起こした 人の割合	60%	61%	42%	45%	61%	64%	61%	70%	65%	77%	73%	53%	58%	74%	87%	71%	70%

■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)

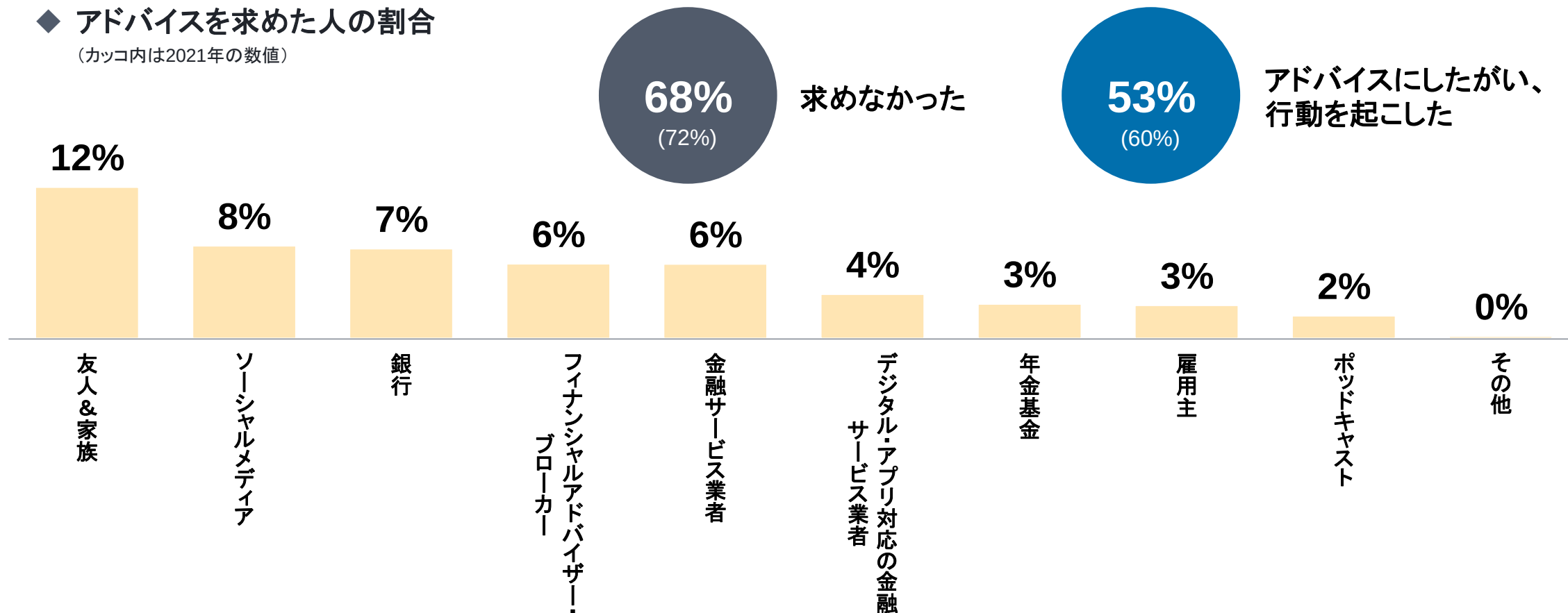
■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

◆ ファイナンシャル・アドバイスを求める日本人は少ない 求めるとしたら、友人、SNS、銀行の順

Q 過去6ヶ月間で、ファイナンシャル・アドバイスを求めましたか？ また、そのアドバイスにしたがって具体的な行動をとりましたか？

◆ アドバイスを求めた人の割合

(カッコ内は2021年の数値)



Retirement

老後に向けた準備

◆ 老後の心配事項: 「健康」「老後資金の枯渇」「予期せぬ出来事」がトップ3

Q 老後の心配事項は何ですか？

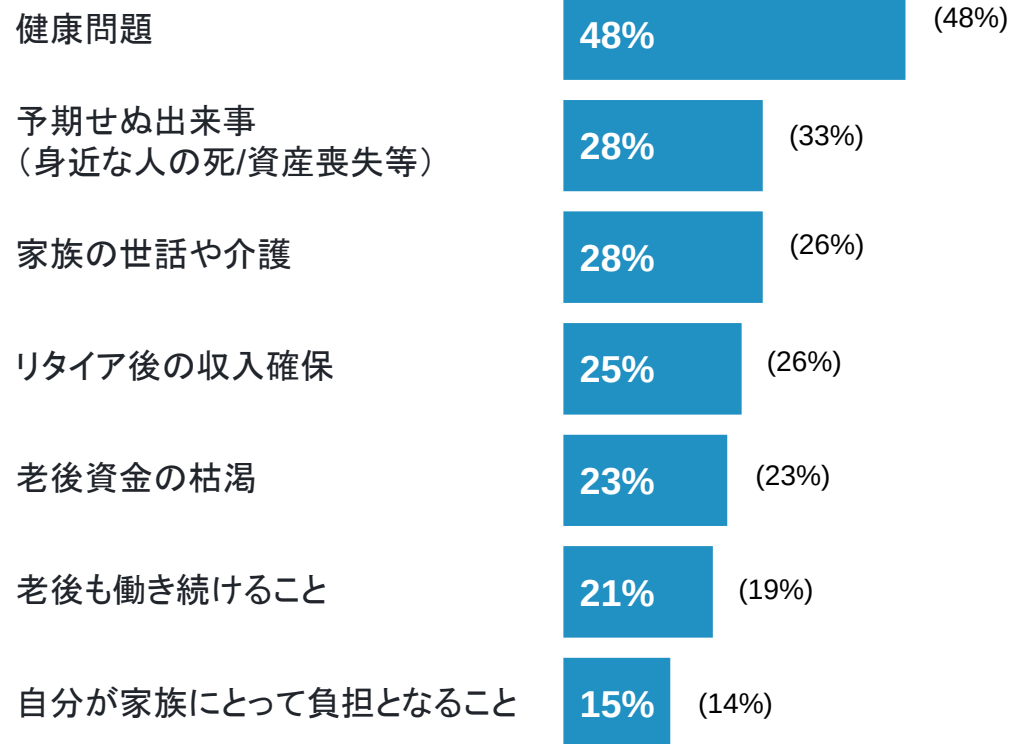
		英国	フランス	イタリア	ドイツ	スペイン	アイルランド	オランダ	米国	カナダ	ブラジル	メキシコ	日本	香港	中国	インド	オーストラリア	シンガポール
(44%)	44% 健康問題	40%	44%	41%	45%	49%	47%	41%	37%	39%	51%	43%	48%	62%	40%	39%	38%	51%
(25%)	29% 老後資金の枯渇	34%	12%	18%	32%	37%	36%	22%	35%	36%	15%	39%	23%	45%	19%	27%	39%	42%
(31%)	28% 予期せぬ出来事 (身近な人の死/資産喪失等)	28%	25%	33%	29%	28%	30%	28%	29%	27%	29%	25%	28%	29%	26%	34%	24%	33%
(19%)	23% 老後も働き続けること	27%	26%	22%	26%	14%	25%	17%	27%	28%	32%	29%	21%	19%	14%	29%	23%	25%
(21%)	21% 自分が家族にとって負担となること	16%	16%	22%	19%	30%	22%	12%	19%	16%	30%	30%	15%	24%	21%	25%	17%	26%
(20%)	20% 家族の世話や介護	13%	17%	22%	10%	18%	16%	12%	19%	15%	19%	15%	28%	22%	21%	35%	16%	25%
(17%)	18% リタイア後の収入確保	20%	11%	12%	14%	17%	21%	16%	14%	15%	12%	32%	25%	26%	15%	14%	14%	20%
(n/a)	12% 自信・アイデンティティの喪失	12%	10%	5%	10%	11%	11%	10%	11%	10%	18%	10%	11%	12%	17%	20%	13%	13%

(カッコ内は2021年の数値)

■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)
■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

◆ 老後の心配事項：日本人は「健康」「予期せぬ出来事」「家族の世話・介護」

Q 老後の心配事項は何ですか？



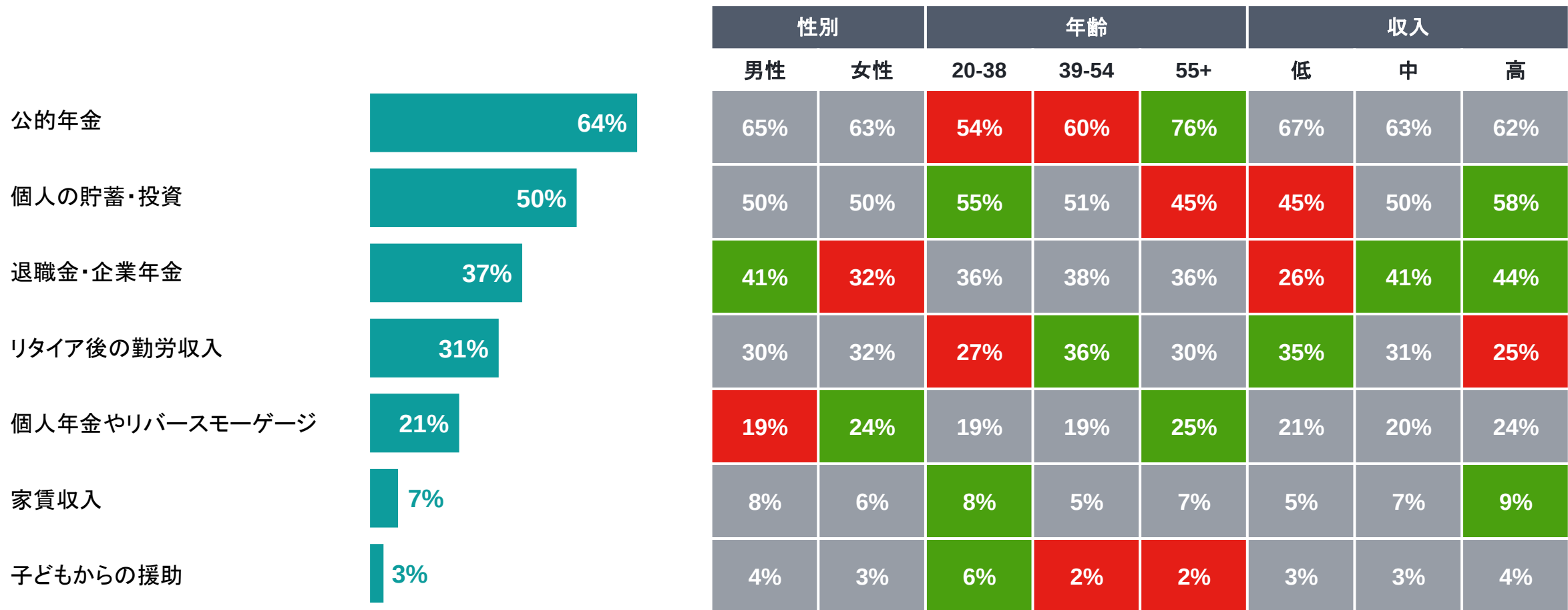
(カッコ内は2021年の数値)

性別		年齢			収入		
男性	女性	20-38	39-54	55+	低	中	高
49%	48%	41%	47%	55%	46%	50%	48%
25%	32%	27%	27%	30%	29%	27%	29%
25%	31%	24%	30%	29%	24%	31%	30%
23%	26%	27%	28%	21%	28%	24%	20%
24%	22%	24%	26%	20%	22%	25%	21%
23%	19%	19%	25%	19%	23%	21%	17%
14%	15%	17%	16%	12%	14%	16%	14%

■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)
■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

◆ 日本人が老後資金の財源として考えるのは、公的年金、次いで個人貯蓄/投資

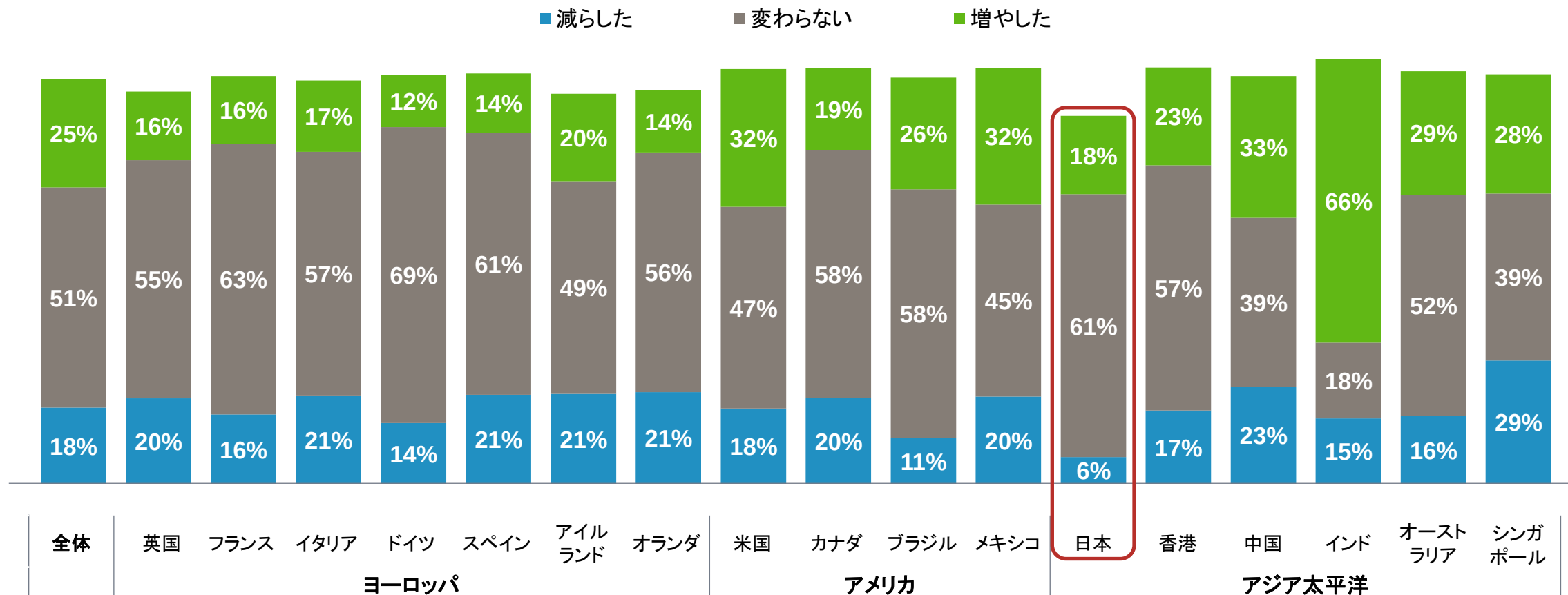
Q あなたが老後資金として考えている主な財源は？（3つまで）



■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)
 ■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

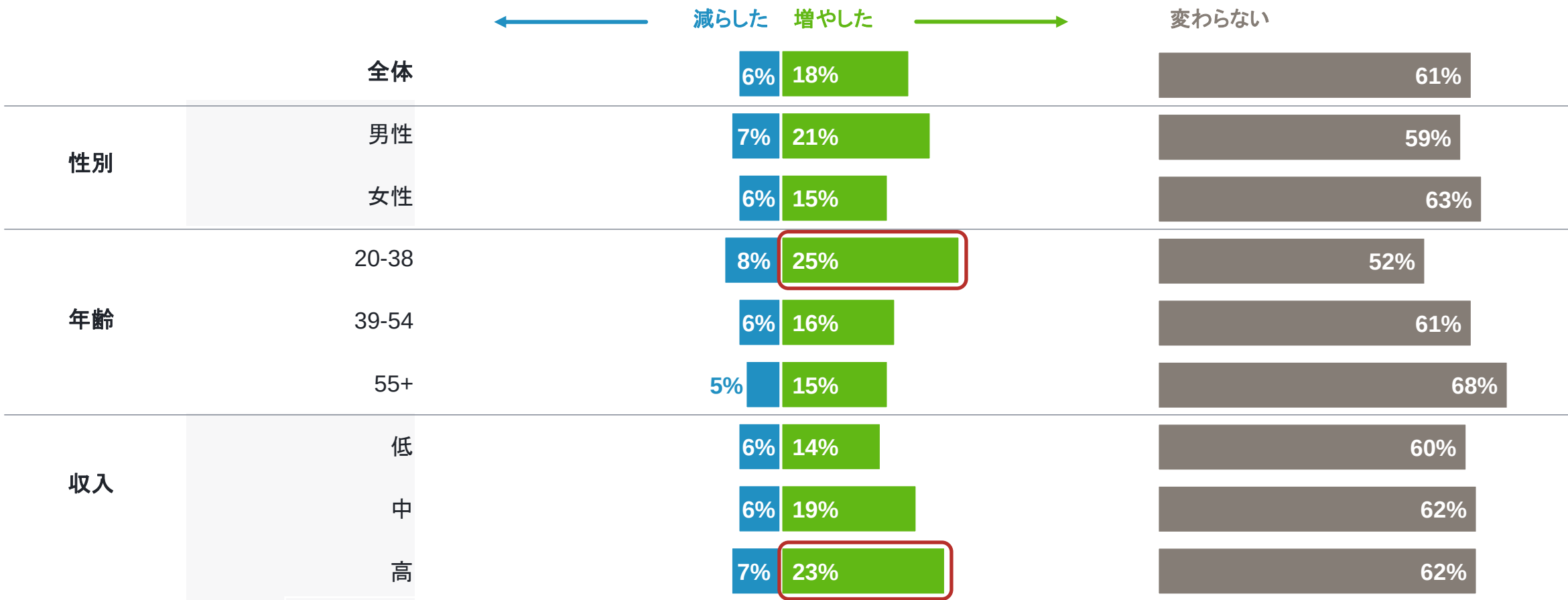
◆ 老後に向けた積立額：インド、中国、メキシコ、米国で増やした人が多い
日本は昨年に続いて、老後の積立額を減らした人の割合が最も少なかった

Q この6ヶ月間で老後に向けた積立金額を変えましたか？



◆ 老後に向けた積立額を変えていないとする人は多い中で、若年層(38歳以下)と高所得層では、増やした人が減らした人の3倍超存在

Q この6ヶ月間で老後に向けた積立金額を変えましたか？



◆ リタイア後の生活費：リタイア前の収入の4分の3以下とする人が大半 「わからない」とする人も多い。特にインフレが激しい欧州で顕著

Q リタイア後の支出は、リタイア前に比べてどのくらいか？（あるいは、どのくらいになる見込みか？）

			英国	フランス	イタリア	ドイツ	スペイン	アイルランド	オランダ	米国	カナダ	ブラジル	メキシコ	日本	香港	中国	インド	オーストラリア	シンガポール
(10%)	11%	リタイア前の収入の0-25%	5%	11%	12%	10%	12%	11%	7%	12%	11%	15%	20%	5%	13%	6%	18%	12%	20%
(23%)	25%	リタイア前の収入の26-50%	18%	19%	17%	20%	19%	22%	16%	23%	20%	32%	35%	16%	36%	35%	41%	22%	34%
(24%)	24%	リタイア前の収入の51-75%	16%	18%	21%	26%	21%	18%	27%	24%	22%	24%	15%	21%	28%	41%	24%	17%	22%
(10%)	9%	リタイア前の収入の76-100%	6%	8%	8%	11%	9%	7%	19%	11%	8%	9%	6%	10%	7%	10%	10%	7%	5%
(2%)	2%	リタイア前の収入の100%超	3%	1%	2%	1%	1%	1%	3%	3%	2%	2%	2%	1%	1%	0%	2%	2%	1%
(31%)	29%	わからない	52%	43%	39%	32%	37%	40%	28%	28%	38%	18%	22%	46%	15%	8%	5%	40%	18%

（カッコ内は2021年の数値）

■ 全体よりも有意に高い（信頼度は95%）

■ 全体よりも有意に低い（信頼度は95%）

◆ リタイア後の生活費：日本人は「わからない」との回答が多い 特に女性、所得が低い人が多い

Q リタイア後の支出は、リタイア前に比べてどのくらいか？（あるいは、どのくらいになる見込みか？）

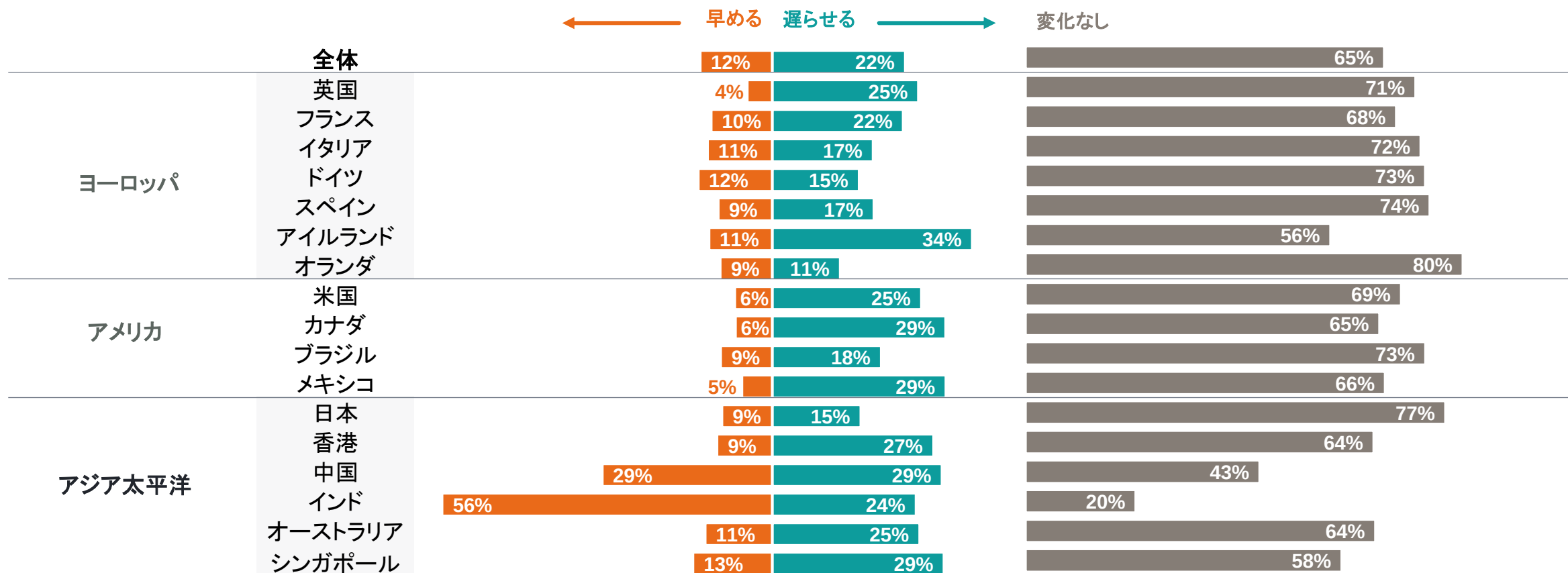
			性別		年齢			収入		
			男性	女性	20-38	39-54	55+	低	中	高
(7%)	5%	リタイア前の収入の0-25%	6%	5%	4%	6%	6%	4%	6%	4%
(15%)	16%	リタイア前の収入の26-50%	20%	13%	17%	15%	16%	12%	16%	22%
(22%)	21%	リタイア前の収入の51-75%	24%	19%	20%	21%	22%	19%	20%	26%
(10%)	10%	リタイア前の収入の76-100%	11%	9%	7%	10%	12%	10%	11%	10%
(2%)	1%	リタイア前の収入の100%超	2%	1%	1%	1%	2%	1%	1%	2%
(44%)	46%	わからない	38%	54%	50%	47%	42%	54%	45%	35%

（カッコ内は2021年の数値）

■ 全体よりも有意に高い（信頼度は95%）
■ 全体よりも有意に低い（信頼度は95%）

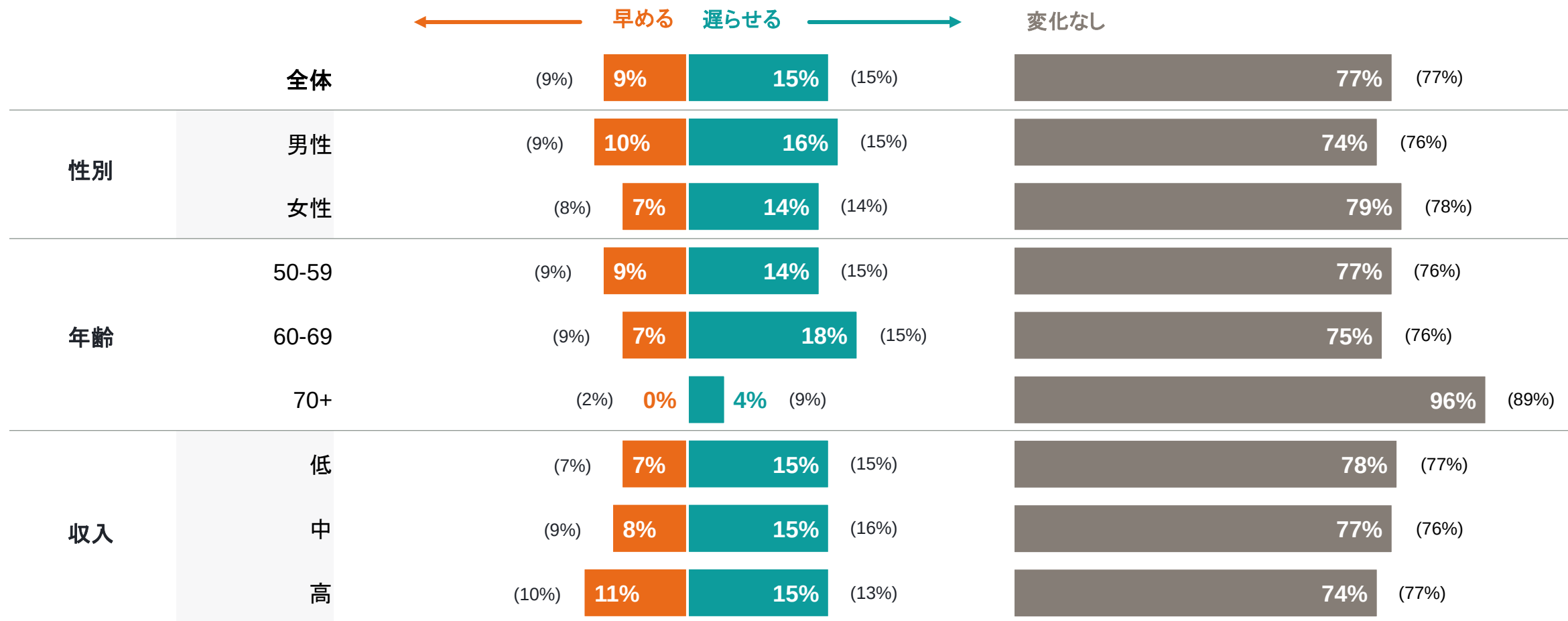
◆ グローバルにはリタイア時期を遅らせる傾向がうかがえる（50歳以上限定の質問）
 遅らせると回答した人は22%と、去年の17%より上昇
 一方、インド、中国は昨年に引き続き「早める」との回答がかなり多い

Q この6ヶ月間で、リタイアする時期に対する考えは変わりましたか？



◆ グローバルと比較すると、日本人は過去6ヶ月間にリタイア時期を変更した人は少ない

Q この6ヶ月間で、リタイアする時期に対する考えは変わりましたか？(50歳以上を対象にした質問)



(カッコ内は2021年の数値)

◆ リタイア時期を早める理由：最も多かったのは、「老後の備えがある」 一方、「健康状態がすぐれない」も5人に一人が理由としてあげている

Q 予定よりリタイア時期を早める理由は？

		英国	フランス	イタリア	ドイツ	スペイン	アイルランド	オランダ	米国	カナダ	ブラジル	メキシコ	日本	香港	中国	インド	オーストラリア	シンガポール
(39%)	34%	N/A	N/A	28%	28%	N/A	N/A	N/A	34%	N/A	N/A	N/A	40%	N/A	34%	23%	N/A	N/A
(19%)	22%	N/A	N/A	13%	33%	N/A	N/A	N/A	20%	N/A	N/A	N/A	27%	N/A	24%	25%	N/A	N/A
(23%)	22%	N/A	N/A	13%	13%	N/A	N/A	N/A	20%	N/A	N/A	N/A	14%	N/A	33%	21%	N/A	N/A
(17%)	21%	N/A	N/A	27%	10%	N/A	N/A	N/A	20%	N/A	N/A	N/A	11%	N/A	35%	26%	N/A	N/A
(16%)	20%	N/A	N/A	19%	16%	N/A	N/A	N/A	26%	N/A	N/A	N/A	18%	N/A	27%	34%	N/A	N/A
(21%)	19%	N/A	N/A	10%	5%	N/A	N/A	N/A	19%	N/A	N/A	N/A	11%	N/A	32%	27%	N/A	N/A
(12%)	19%	N/A	N/A	11%	11%	N/A	N/A	N/A	9%	N/A	N/A	N/A	10%	N/A	30%	30%	N/A	N/A

N/A: 数値が低い本稿においては記載していません

■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)

■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

(カッコ内は2021年の数値)

◆ リタイア時期を遅らせる理由:「老後資金が足りないから」がトップ(前年の33%から44%へと大幅増加)。
同じく昨年トップだった「働くことが好きだから」とは大きな差がついた

Q 予定よりリタイア時期を遅らせる理由は？

		英国	フランス	イタリア	ドイツ	スペイン	アイルランド	オランダ	米国	カナダ	ブラジル	メキシコ	日本	香港	中国	インド	オーストラリア	シンガポール
(33%)	44% 思っていたほど老後資金がないことに気づいた	54%	38%	35%	46%	43%	49%	22%	41%	57%	24%	53%	40%	48%	35%	54%	53%	50%
(33%)	30% 働くことが好きで長く働きたい	21%	29%	25%	33%	40%	23%	31%	24%	27%	34%	28%	37%	39%	27%	39%	27%	35%
(22%)	26% パートタイムで仕事を続けられる予定である	27%	22%	17%	21%	21%	28%	18%	19%	29%	13%	22%	24%	23%	31%	40%	29%	43%
(24%)	25% 自分の経済状況が変わった	24%	12%	21%	20%	18%	24%	24%	24%	30%	40%	36%	20%	28%	30%	41%	20%	24%
(11%)	9% 配偶者・パートナーが解雇された/予想より早くリタイアすることになった	1%	7%	11%	5%	9%	4%	8%	8%	5%	7%	2%	9%	6%	28%	14%	5%	3%
(8%)	7% 個人事業主になった	7%	3%	5%	2%	5%	2%	4%	3%	1%	9%	12%	5%	6%	20%	23%	4%	12%

N/A: 数値が低いため本稿においては記載していません

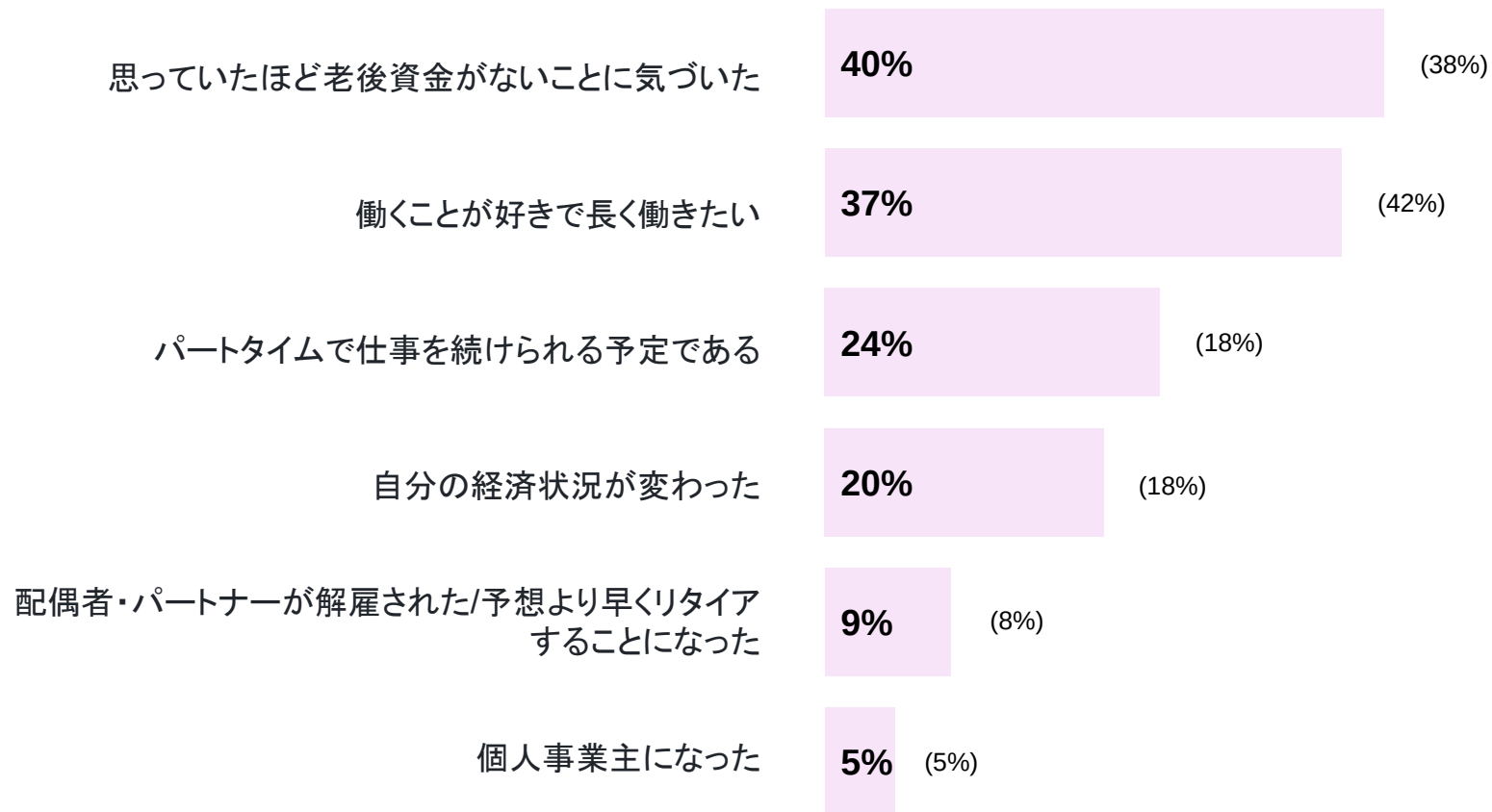
■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)

■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

(カッコ内は2021年の数値)

◆ リタイア時期を遅らせる理由：日本においても、「働くことが好きだから」は昨年の1位から2位に転落し、「思っていたほど老後資金がないことに気づいた」がトップに

Q 予定よりリタイア時期を遅らせる理由は？



(カッコ内は2021年の数値)

Work 仕事

◆ 従業員が会社を求めるもの：ワークライフバランス支援、メンタルヘルスへのサポートとウェルビーイング、段階的なリタイアプログラムなどが上位

Q 会社に提供して欲しいプログラムは何ですか？

		英国	フランス	イタリア	ドイツ	スペイン	アイルランド	オランダ	米国	カナダ	ブラジル	メキシコ	日本	香港	中国	インド	オーストラリア	シンガポール
(33%)	33% ワークライフバランス支援	30%	18%	30%	29%	40%	44%	21%	32%	32%	31%	33%	26%	45%	30%	41%	34%	51%
(26%)	26% メンタルヘルス支援 & ウェルビーイング施策	27%	15%	23%	21%	33%	39%	15%	25%	27%	45%	35%	12%	20%	23%	35%	27%	30%
(n/a)	23% 段階的なリタイアプログラム	19%	32%	25%	21%	38%	33%	21%	18%	27%	19%	36%	16%	28%	15%	22%	18%	28%
(n/a)	22% 生命保険、障害保険	16%	16%	19%	20%	21%	25%	14%	20%	23%	23%	26%	18%	32%	21%	31%	15%	31%
(23%)	21% 身体への健康サポート (ジム会費補助等)	18%	14%	18%	19%	23%	26%	12%	21%	20%	33%	26%	14%	24%	25%	25%	15%	21%
(21%)	20% 老後準備に関する教育	16%	15%	14%	14%	20%	29%	23%	25%	23%	25%	29%	13%	16%	15%	26%	18%	20%
(n/a)	19% 生涯学習の機会	19%	9%	24%	12%	25%	24%	12%	15%	16%	22%	27%	10%	20%	22%	28%	17%	29%
(18%)	17% 一般的なマネー教育	13%	8%	12%	7%	12%	24%	13%	20%	19%	21%	21%	14%	19%	21%	30%	15%	21%

(カッコ内は2021年の数値)

■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)
■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

◆ 従業員が会社に求めるもの：日本でもワークライフバランスがトップ、グローバルと比べるとどの項目も要求度合いが低め

Q 会社に提供して欲しいプログラムは何ですか？

			性別		年齢			収入		
			男性	女性	20-38	39-54	55+	低	中	高
(28%)	26%	ワークライフバランス支援	25%	28%	34%	29%	18%	26%	26%	26%
(n/a)	18%	生命保険、障害保険	17%	18%	22%	20%	13%	17%	19%	17%
(n/a)	16%	段階的なリタイアプログラム	20%	13%	16%	17%	16%	16%	15%	19%
(13%)	14%	一般的なマネー教育	15%	13%	21%	15%	8%	13%	16%	12%
(14%)	14%	身体健康サポート(ジム会費補助等)	13%	14%	16%	13%	12%	13%	13%	16%
(13%)	13%	老後準備に関する教育	16%	11%	13%	13%	14%	12%	12%	16%
(17%)	12%	メンタルヘルス&ウェルビーイング支援	12%	12%	16%	13%	9%	11%	13%	12%
(10%)	11%	投資教育	12%	10%	16%	12%	7%	8%	12%	13%

(カッコ内は2021年の数値)

■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)
■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

◆ 重視する福利厚生制度・手当：ボーナス、企業年金（退職準備制度）、年次有給休暇などが上位

Q 基本給以外で、以下のうちの福利厚生制度ないし手当があなたにとって重要ですか？

	英国	フランス	イタリア	ドイツ	スペイン	アイルランド	オランダ	米国	カナダ	ブラジル	メキシコ	日本	香港	中国	インド	オーストラリア	シンガポール
32% ボーナス／賞与	33%	23%	34%	38%	23%	32%	28%	32%	30%	27%	28%	47%	39%	25%	23%	30%	44%
30% 企業年金／退職金／ 老後準備のための積立制度	30%	31%	20%	26%	34%	36%	34%	37%	43%	24%	41%	21%	39%	29%	28%	18%	18%
29% 年次有給休暇	39%	28%	8%	47%	28%	35%	40%	19%	19%	25%	20%	43%	36%	20%	19%	43%	33%
27% 柔軟な勤務条件（場所、時間）	36%	24%	29%	23%	35%	32%	30%	28%	28%	27%	24%	16%	20%	24%	24%	33%	37%
25% 医療保険制度	21%	21%	29%	12%	29%	31%	15%	31%	32%	39%	34%	14%	40%	21%	24%	18%	29%
19% 各種手当	10%	15%	22%	24%	11%	12%	15%	12%	11%	18%	13%	35%	30%	26%	24%	12%	18%
17% 生命保険	13%	15%	17%	11%	16%	14%	9%	18%	16%	25%	34%	7%	14%	18%	29%	12%	18%

■ 全体よりも有意に高い（信頼度は95%）

■ 全体よりも有意に低い（信頼度は95%）

◆ 重視する福利厚生制度・手当：女性は柔軟な勤務条件、高齢者は企業年金、低所得層はボーナスを重要と考えるなど、属性によって異なる結果

Q 基本給以外で、以下のうちどの福利厚生制度ないし手当があなたにとって重要ですか？

	性別		年齢			収入		
	男性	女性	20-38	39-54	55+	低	中	高
32% ボーナス／賞与	32%	32%	30%	34%	33%	34%	32%	29%
30% 企業年金／退職金／ 老後準備のための積立制度	31%	29%	23%	30%	38%	29%	29%	33%
29% 年次有給休暇	29%	30%	27%	29%	32%	29%	30%	28%
27% 柔軟な勤務条件(場所、時間)	24%	30%	28%	28%	25%	26%	26%	28%
25% 医療保険制度	24%	27%	23%	25%	28%	23%	25%	28%
19% 各種手当	19%	19%	22%	20%	15%	20%	20%	17%
17% 生命保険	17%	16%	19%	16%	15%	15%	16%	19%

■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)

■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

◆ 重視する福利厚生制度・手当：日本ではボーナスについて、年次有給休暇、各種手当が上位で、企業年金等はグローバルと比べて低順位

Q 基本給以外で、以下のうちの福利厚生制度ないし手当があなたにとって重要ですか？

	性別		年齢			収入		
	男性	女性	20-38	39-54	55+	低	中	高
47% ボーナス／賞与	47%	47%	45%	53%	43%	48%	48%	43%
43% 年次有給休暇	38%	48%	45%	42%	44%	45%	43%	42%
35% 各種手当	36%	34%	40%	37%	30%	36%	36%	30%
21% 企業年金／退職金／ 老後準備のための積立制度	21%	20%	12%	22%	26%	18%	21%	25%
16% 柔軟な勤務条件（場所、時間）	15%	17%	18%	17%	15%	16%	16%	16%
16% 特別休暇	14%	18%	19%	14%	16%	15%	17%	15%
14% 医療保険制度	15%	13%	13%	13%	16%	12%	16%	13%

■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)

■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

◆ 新たに利用した福利厚生プログラム 職域の年金制度と健康支援／ウェルビーイング・サービスなどが人気

Q 過去12ヶ月間であなたが活用した福利厚生制度はどれですか？

			英国	フランス	イタリア	ドイツ	スペイン	アイルランド	オランダ	米国	カナダ	ブラジル	メキシコ	日本	香港	中国	インド	オーストラリア	シンガポール
(31%)	29%	職域での年金制度への加入、活用	27%	29%	18%	42%	27%	31%	25%	29%	30%	19%	36%	17%	33%	0%	35%	29%	27%
(26%)	26%	健康支援／ウェルビーイングサービスへの加入	33%	29%	14%	30%	24%	21%	13%	26%	18%	40%	24%	22%	21%	0%	29%	23%	27%
(24%)	26%	社員割引プログラム	30%	24%	35%	18%	18%	23%	16%	24%	16%	18%	20%	54%	21%	0%	31%	28%	27%
(23%)	25%	団体医療保険への加入	21%	14%	12%	19%	22%	25%	13%	25%	21%	19%	35%	14%	24%	0%	35%	28%	32%
(20%)	21%	歯科保健、眼科保険への加入	21%	11%	15%	15%	25%	18%	10%	25%	21%	36%	17%	0%	30%	0%	24%	15%	22%
(26%)	21%	生命保険、障害保険への加入	18%	14%	15%	27%	14%	13%	19%	24%	14%	23%	28%	9%	20%	0%	25%	20%	24%
(24%)	20%	EAP (カウンセリングサービス等)	16%	9%	11%	16%	26%	13%	16%	22%	13%	19%	18%	8%	15%	0%	31%	20%	22%
(21%)	19%	従業員持株制度への加入	12%	10%	10%	12%	27%	11%	21%	22%	14%	14%	20%	13%	13%	0%	27%	20%	21%

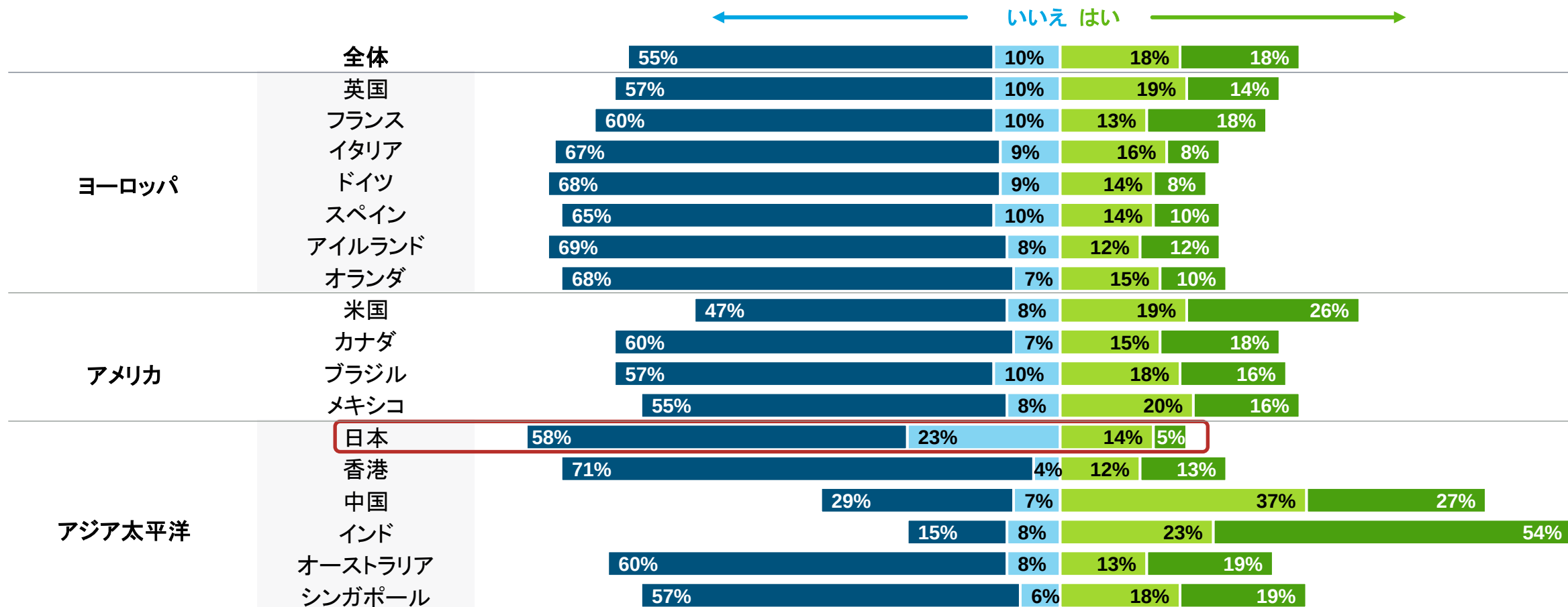
(カッコ内は2021年の数値)

■ 全体よりも有意に高い(信頼度は95%)
■ 全体よりも有意に低い(信頼度は95%)

◆ グローバルでは従業員の3分の1以上がストックプランに参加 日本ではこの比率が調査対象国の中で最低

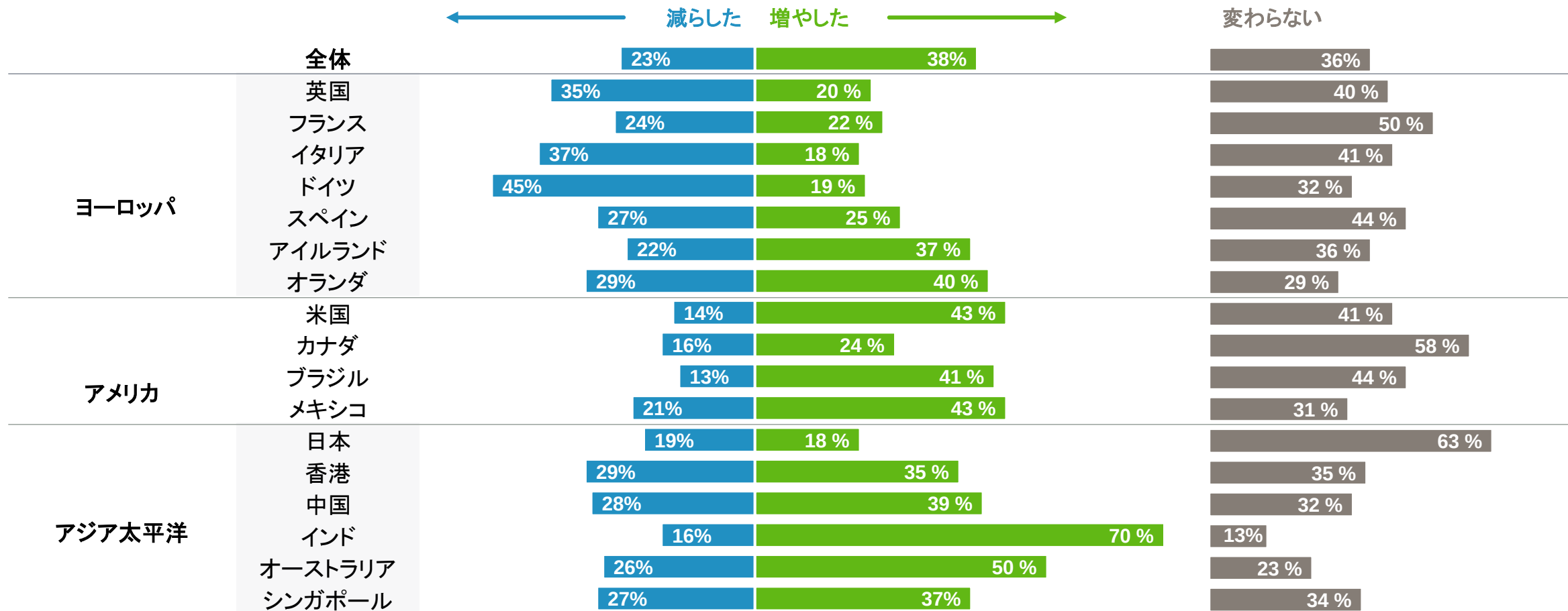
Q 現在、会社のストックプランに加入していますか？

- いいえ、会社にプログラムがない
- はい、自動加入した
- いいえ、プログラムはあるが、参加していない
- はい、自分の意思で加入した



◆ アメリカとアジア諸国は、ストックプランへの積立額を増やしている 欧州はまちまち

Q この6ヶ月間に、ストックプランへの金額を増やしましたか、減らしましたか？



フィデリティ・グローバル・センチメント・サーベイについて

本調査の対象者は以下のとおりです

- 年齢: 20～75歳
- 本人もしくは配偶者・パートナーのいずれかがフルタイムもしくはパートタイムで勤務
- 世帯収入が以下の金額以上

英国: £10,000 / 年、フランス: €20,000 / 年、イタリア: €15,000 / 年、ドイツ: €20,000 / 年、スペイン: €15,000 / 年、アイルランド: €20,000 / 年、
オランダ: €20,000 / 年、米国: US\$20,000 / 年、カナダ: CA\$30,000 / 年、メキシコ: MXN\$4,500 / 月、ブラジル: R\$1,501 / 月、
日本: 300万円 / 年、香港: HK\$15,000 / 月、中国: RMB5,000 / 月、インド: ₹55,001 / 年、オーストラリア\$45,000/年、
シンガポール: SGD\$2,000 / 月

データ収集期間: 2022年7月から9月

【ご注意点】

- 当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。

フィデリティ投信株式会社 金融商品取引業者

登録番号： 関東財務局長(金商)第388号

加入協会： 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

MK230126-3